

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	在宅介護支援センター-運営事業(標準型2、基幹型1)		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課		算	款	民生費	03	
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉のネットワークの確立		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	高齢者の介護を必要とする家族		高齢者が住み慣れた町で、安心して暮らしていけるように、自宅に居ながら、保健、福祉、介護の相談などを行う。				
事業の実施内容	<p>在宅介護支援センター - には基幹型と地域型があります</p> <p>基幹型在宅介護支援センター - は、地域型在宅介護支援センター - の統括・支援を行うとともに関係機関と連携をとりながら保健・福祉・介護サ - ビスの総合調整を行う。</p> <p>具体的には…………… 在宅介護に関する相談 公的サービスの利用手続きの手伝い 保健・福祉・介護サ - ビス等の紹介 介護保険に該当しない方々への生活支援サ - ビスの紹介 高齢者の生活状況を把握し福祉課題の早期発見・解決の支援を行います。</p> <p>基幹型在宅介護支援センター (町社会福祉協議会内) 13,725千円</p> <p>地域ケア会議 10回</p> <p>電話相談: 延べ241人 来所相談: 延べ175人</p> <p>訪問相談: 延べ255人 その他文書による相談: 33件</p> <p>福祉サ - ビス利用申請数: 123件</p> <p>実態把握調査件数: 125件</p> <p>地域型は地域の在宅介護の拠点として、実態把握等の活動を行う。</p> <p>地域型在宅介護支援センター - (沖縄第一病院内) 4,020千円</p> <p>電話相談: 延べ86人 来所相談: 延べ36人</p> <p>訪問相談: 延べ963人</p> <p>福祉サ - ビス利用申請数: 5件</p> <p>実態把握調査件数: 461件</p>						
	事業の成果	相談、会議、訪問業務等を行い高齢者や介護者の健康・福祉・介護等に貢献できた。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	18,120	17,745	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				13,818			3,927

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

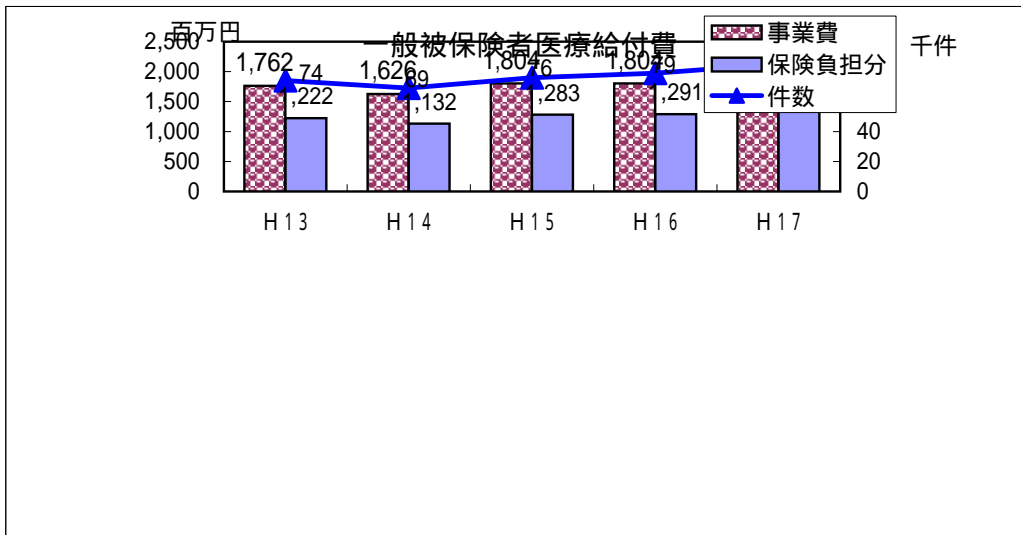
事業名	医療給付事業(国民健康保険)	予	会計	国民健康保険特別会計	02
部 課	民生部 国民健康保険課 保険給付班	算	款	保険給付費	02
連絡先	889-1798	科	項	療養諸費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	一般被保険者医療給付費他	1~4

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	国民健康保険被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡	必要な保険給付を行い、保健の向上、生活の安定に資するため。

病気やけがなどにより病院で診察や治療を受けると、病院で直接支払う金額は、医療費の3割で後の7割は町の国保会計から支払います。(70歳以上1割又は2割の個人負担、3歳未満は2割の個人負担)

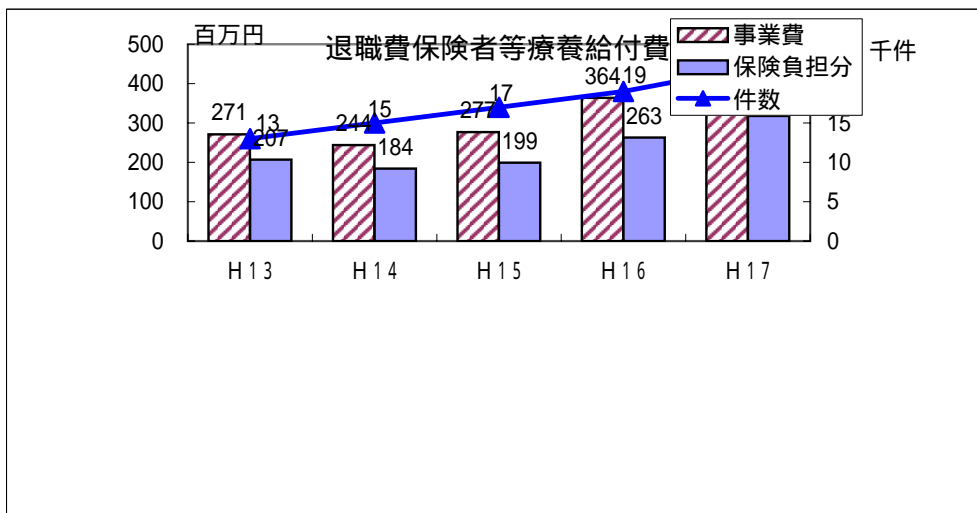
一般被保険者療養給付費(2款1項1目) (単位:千円)

件数	事業費	保険者負担分
85,291	1,934,858	1,387,737



退職被保険者等療養給付費(2款1項2目) (単位:千円)

件数	事業費	保険者負担分
22,340	432,143	317,891

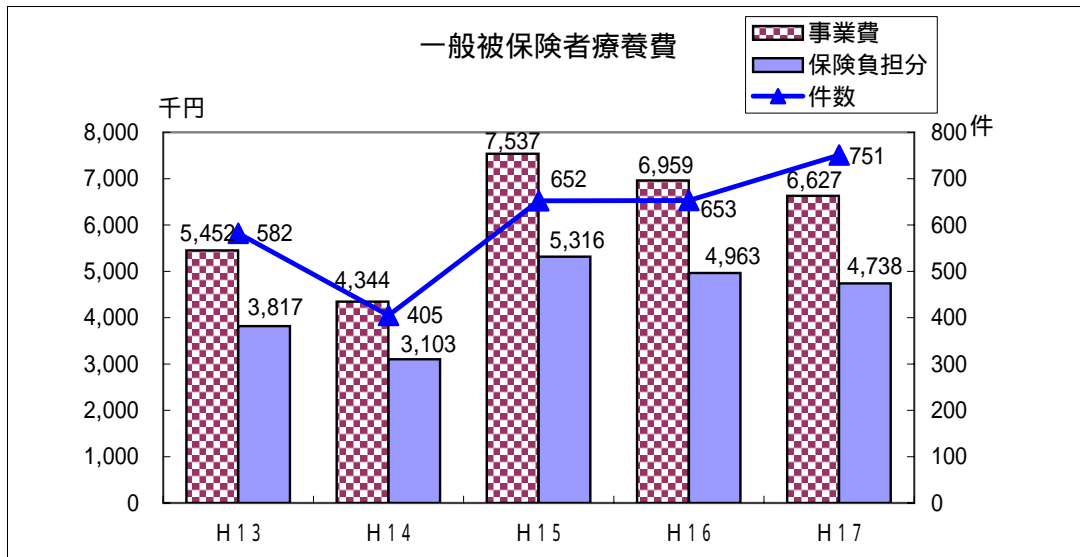


次ページへ続く

事業の実施内容

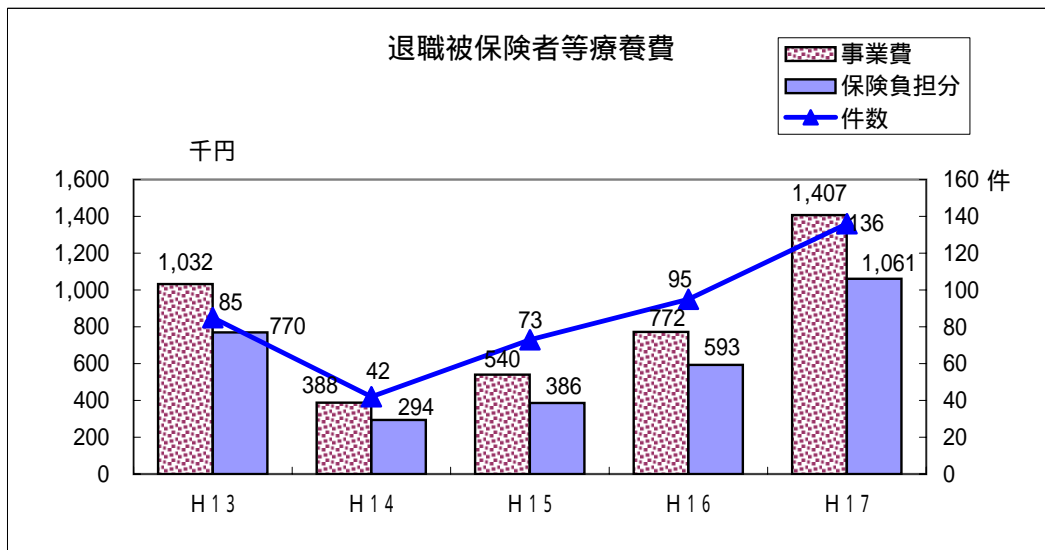
一般被保険者療養費 (2款1項3目) (単位:千円)

件数	事業費	保険者負担分
751	6,627	4,738



退職被保険者等療養費 (2款1項4目) (単位:千円)

件数	事業費	保険者負担分
136	1,407	1,061



被保険者への保険給付を実施する事により、被保険者の保健の向上、生活安定に寄与しています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,726,199	1,711,427	837,018				874,409

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	健康づくり事業(国民健康保険)		予	会計	国民健康保険特別会計	02																					
部 課	民生部 国民健康保険課 保険給付班		算	款	保健事業費	06																					
連絡先	889 - 1798		科	項	保健事業費	01																					
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	疾病予防費	02																					
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																								
	国民健康保険の被保険者		健康に対する意識の高揚と、疾病の早期発見、治療による医療費の抑制へとつなぎ国民健康保険事業の円滑なる運営を図ります。																								
事業の実施内容	健康づくり事業の内容と受診者数 (単位:千円)																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>受診者</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病事業</td> <td>62</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td>986</td> <td>3,944</td> </tr> <tr> <td>あん摩、マッサージ</td> <td>178</td> <td>954</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症</td> <td>442</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,682</td> <td>5,876</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	受診者	決算額	糖尿病事業	62	602	生活習慣病	14	15	人間ドック	986	3,944	あん摩、マッサージ	178	954	骨粗しょう症	442	361	合 計	1,682	5,876
	事業名	受診者	決算額																								
	糖尿病事業	62	602																								
	生活習慣病	14	15																								
	人間ドック	986	3,944																								
	あん摩、マッサージ	178	954																								
	骨粗しょう症	442	361																								
合 計	1,682	5,876																									
事業の成果																											
被保険者の健康データから保健指導票を作成し、保健師の訪問指導も含め軽症糖尿病対策、健康教室の事業を実施した事により健康づくりに貢献できました。																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
	6,847	5,876	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源																					
						5,876																					

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保険税収納率向上特別対策事業(国民健康保険)		予	会計	国民健康保険特別会計	02																
部 課	民生部 国民健康保険課 保険税班		算	款	総務費	01																
連絡先	889-1798		科	項	徴税費	02																
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保険税収納率向上特別対策事業	02																
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																		
	国民健康保険被保険者			収納体制の充実強化を図り収納率の向上を図ります。																		
事業の実施内容	<p>特別収納活動の円滑な実現が図られるよう、納付指導員6名を採用しています。</p> <p>常習滞納者・長期滞納者・高額滞納者等を対象として、次のことを行いました。</p> <p>(1)納付指導員による休日・夜間等の臨戸徴収。</p> <p>(2)個別の納付相談対応(呼び出し、訪問等)</p> <p>(3)夜間の電話による催促、呼び出しによる納税相談等の実施。</p> <p>納付相談窓口の納付指導員の対応により相談が円滑に行えています。</p> <p>住民登録外の徴収を職員と連携で月2回実施し定例化しました。</p> <p>指導員に携帯電話を常時所持させ、連携を密に取ることで収納率の向上を図っています。</p>																					
	<p>収納状況(平成15年度～17年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年分</th> <th>滞納分</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■15年度</td> <td>94.32</td> <td>10.99</td> <td>78.95</td> </tr> <tr> <td>■16年度</td> <td>94.09</td> <td>12.16</td> <td>78.82</td> </tr> <tr> <td>■17年度</td> <td>94.74</td> <td>11.07</td> <td>79.38</td> </tr> </tbody> </table>								現年分	滞納分	計	■15年度	94.32	10.99	78.95	■16年度	94.09	12.16	78.82	■17年度	94.74	11.07
	現年分	滞納分	計																			
■15年度	94.32	10.99	78.95																			
■16年度	94.09	12.16	78.82																			
■17年度	94.74	11.07	79.38																			
事業の成果	<p>収納率</p> <p>平成16年度 94.09% (一般 93.40%) (退職 98.41%)</p> <p>平成17年度 94.74% (一般 93.98%) (退職 99.15%)</p> <p>経済情勢の変化により収納率の低下が危惧されたが、納税者の国保制度に対する理解と全庁的な徴収の取り組みを実施し、対前年度より収納率は0.65%向上しています。</p>																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
	17,848	17,540	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
			1,375				16,165															

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	国民健康保険特別会計繰出		予	会計	一般会計	01												
部 課	民生部 民生総務課 福祉企画班		算	款	民生費	03												
連絡先	889-2508		科	項	社会福祉費	01												
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	社会福祉総務費	01												
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)															
	国民健康保険被保険者		国保事業の円滑で適正な運営を図ります。															
事業の充実内容	<p>国民健康保険事業の円滑で適正な運営に役立てるため、また、国保財政の健全性を図るために、一般会計から国民健康保険特別会計に対し、繰出金を支出しました。</p> <p>1. 保健基盤安定繰出金(保険税軽減分) 低所得世帯の保険税を軽減する制度があります。その軽減した額を一般会計から国保会計へ支出しました。 予算額:125,452千円 決算額:125,452千円</p> <p>2. 保健基盤安定繰出金(保険者支援分) 国保財政の健全化を図ることや、国保税が市町村で大きく較差が生じないように、一般会計から繰出金を支出しました。 予算額:25,977千円 決算額:25,976千円</p> <p>3. 職員給与費等繰出金 国民健康保険課の職員の人件費や事務費などの支出のため、一般会計よりその分を繰出金として支出しました。 予算額:100,000千円 決算額:100,000千円</p> <p>4. 出産育児一時金繰出金 国保加入者が出産した場合に、国保会計から30万円を出産育児一時金として支給します。その支給する2/3を一般会計から繰出金として国保会計へ支出しました。 予算額:23,000千円 決算額:20,000千円</p> <p>5. 財政安定化支援事業繰出金 国保会計の財政基盤の安定を図るため、国保税の軽減世帯数や町内病院の病床数、高齢者数などの数値を元に計算して出した額を一般会計から国保会計へ繰出金として支出しました。 予算額:76,773千円 決算額:76,773千円</p>																	
	<p style="text-align: center;">千円</p> <p style="text-align: center;">国保会計への繰出金合計額推移</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H13</td> <td>379,168</td> </tr> <tr> <td>H14</td> <td>339,557</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>423,343</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>379,303</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>348,201</td> </tr> </tbody> </table>						年度	合計額(千円)	H13	379,168	H14	339,557	H15	423,343	H16	379,303	H17	348,201
	年度	合計額(千円)																
	H13	379,168																
	H14	339,557																
H15	423,343																	
H16	379,303																	
H17	348,201																	
<p>国保の保険税は、世帯の所得などで決められます。また、保険税額は市町村が決定するため、市町村により額が違います。市町村によって国保税の収入に格差があり、国保会計の財政力に違いが出てきます。本町では、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出金を支出することで、国保財政の健全化が図られました。</p>																		
事業の成果	決算額の財源内訳																	
	予算の執行状況	予算額	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源										
		351,203	348,201	12,988	100,582			234,631										

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	予防接種事業		予	会計	一般会計	01			
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04			
連絡先	889 - 1797		科	項	保健衛生費	01			
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	予防費	02			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)					
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者			ワクチンを接種することによって、病気にかからないように免疫をつくり、感染症から守る。					
事業の内容	主な経費								
	予防接種医師委託料		28,704千円						
	予防接種医薬材料費		7,672千円						
	その他		850千円						
	合 計		37,236千円						
事業の内容	平成17年度接種状況								
	接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	委託料(単価)	個別・集団	通知及び実施方法、回数	対象年齢
DPT (一期初回)	第1回	775	437	56%	4,200	個別	・新規対象者には、毎月通知。漏れ者には毎年1回通知。	3カ月～90 カ月未満	
	第2回	954	444	47%	4,200				
	第3回	1,128	427	38%	4,200				
DPT	追 加	660	388	59%	4,200				
D T	第2期	451	407	90.24%	1,427	集団	・年2回実施。漏れ者には個別接種	小学6年生	
ポリオ	第1回	904	434	48.01%	1,427	集団	・上半期4回、下半期4回実施。内1回ずつ接種。	3カ月～90 カ月未満	
	第2回	745	419	56.24%					
麻疹	1回	716	447	62.43%	6,983	個別	・毎月2回通知。漏れ者には毎年2回通知	12カ月～90 カ月未満	
風しん	1回	1,250	513	41.04%	4,200	個別・集団	・毎月通知。漏れ者には毎年1回通知。集団2月	12カ月～90 カ月未満	
日本脳炎 (一期初回)	第1回	642	400	62.31%	1,427	集団	・年5回実施。内2回接種	6カ月～90 カ月未満	
	第2回	524	341	65.08%	1,427				
日本脳炎	1期追加	434	60	13.82%	4,200	個別	・4月まで通知		
	第2期	419	364	86.87%	1,427	集団	・年5回実施。内1回接種	小学4年生	
	第3期	420	363	86.43%	1,427			中学3年生	
インフルエンザ		4,156	2,819	67.83%	3,150	個別	・10月に通知。翌年2月28日まで	65歳以上	
事業の成果	予防接種を実施することにより、病気にかかりにくくなったり、かかっても重症になることを防ぎ子供や老人の健康づくりに役立つことができました。								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	37,734	37,236						37,236	



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	結核対策事業		予	会計	一般会計	01		
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04		
連絡先	889 - 1797		科	項	保健衛生費	01		
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	結核対策費	03		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)					
	・生後3カ月～6カ月及び18歳以上の住民		結核予防法に基づき、結核の予防及び結核患者に対する適切な医療の普及を図り結核を防止する。					
事業の実施内容	平成17年度BCG接種者集計表							
	胸部X線間接撮影委託料		1,096千円					
	BCG予防接種委託料		1,252千円					
	その他		113千円					
合 計		2,461千円						
平成17年度胸部X線間接撮影者実績								
胸部X線間接撮影者数		1,491						
平成17年度BCG実績								
接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	委託料(単価)	個別・集団	通知及び実施方法、回数	対象年齢
BCG	一回	426	373	87.56%	3,150	集団	・年6回実施。対象者には毎月通知。漏れ者には個別接種	3カ月～6カ月
事業の成果	抵抗力の弱い乳幼児でがCG接種を受けることは結核予防のため極めて有効であり、感染・発症のリスクを軽減することができました。							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
	2,567	2,461	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
							2,461	



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

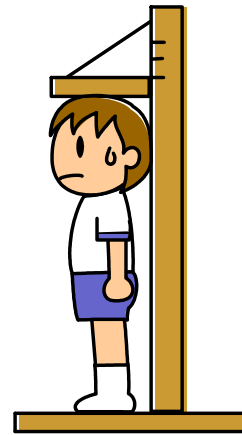
単位:千円

事業名	健康づくり推進事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04
連絡先	889 - 1797		科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保健推進対策費	06
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	町民		各種団体の代表及び各分野の専門家による健康づくり推進協議会を設置し、地域住民に密接した総合的な健康づくり対策を積極的に推進する。			
事業の実施内容	健康づくり推進協議会委員報酬・費用弁償 保健事業実施予定表作成印刷費				59千円 133千円	
	<p>1健康づくり推進協議会の開催</p> <p>2啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業実施予定表を各区長・自治会長・委託職員をとおして世帯に配布</li> <li>・町立保育所・法人保育園児に配布</li> <li>・町広報の活用</li> </ul>					
事業の成果	健康づくり推進協議会を開催し、町の健康づくり事業の実績をもとに情報交換を行い、次年度の施策につなげることができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	459	192	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						192

平成17年度主要施策の成果に関する報告書


単位:千円

事業名	1才6ヶ月児健診	予	会計	一般会計	01																						
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04																						
連絡先	889 - 1797	科	項	保健衛生費	01																						
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01																						
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																									
	1歳7ヶ月～8ヶ月の幼児 (対象者に個別通知)	幼児初期の身体、精神の発育発達の状態を確認し、遅れのある児に対しては順調な発育・発達を促進するため、適切な指導を行う。																									
事業の実施内容	<p>1歳6ヶ月児健診 (毎月1回実施)</p> <p>会場: 町立中央公民館</p> <p>健診内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達チェック</li> <li>・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲)</li> <li>・尿検査(尿蛋白・尿潜血・尿糖)</li> <li>・貧血検査(血色素量)</li> <li>・小児科医による診察</li> <li>・歯科医による診察</li> <li>・歯科衛生士の指導及び相談</li> <li>・保健指導及び相談</li> <li>・栄養指導及び相談</li> </ul> <p>スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医師 1名</li> <li>・歯科医師 1名</li> <li>・歯科衛生士 1名</li> <li>・検査技師 1名</li> <li>・看護師 1名</li> <li>・心理相談士 1名</li> <li>・栄養士 1名</li> <li>・保健師 3名</li> <li>・母子保健推進員 2名</li> <li>・町職員 1名</li> </ul> <p>主な経費</p> <p>尿・貧血検査(1人1,050円)は沖縄県総合保健協会に委託。</p> <table border="1"> <tr> <td>医師等謝礼金</td> <td>1,028千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品・通知費他</td> <td>163千円</td> </tr> <tr> <td>検査委託料など</td> <td>667千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,858千円</td> </tr> </table> <p>委託料には、尿・貧血検査・精密検査・健診統計処理業務にかかる費用も含まれる。</p>					医師等謝礼金	1,028千円	消耗品・通知費他	163千円	検査委託料など	667千円	合 計	1,858千円														
	医師等謝礼金	1,028千円																									
消耗品・通知費他	163千円																										
検査委託料など	667千円																										
合 計	1,858千円																										
事業の成果	<p>平成17年度 1歳6ヶ月児健診受診状況</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者数</th> <th>受信者数</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>456</td> <td>418</td> <td>91.7%</td> </tr> </table> <p>平成17年度 1歳6ヶ月児健診結果内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>問題なし</th> <th>要助言</th> <th>要経観</th> <th>要精査</th> <th>要治療</th> <th>要心理</th> <th>治療中</th> <th>観察中</th> </tr> <tr> <td>337</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>歩行や言語発達の標識が得られやすい時期なので、心身障害の早期発見・早期対応ができました。精密検査が必要と診断された中で一番多かったのは、乳児健診と同じく「貧血」で、食生活の見直しと改善が必要です。診察後に受診者のほとんどが栄養士の個別相談を受けることができました。</p>					対象者数	受信者数	受診率	456	418	91.7%	問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	要心理	治療中	観察中	337	23	25	21	1	-	8	3
	対象者数	受信者数	受診率																								
456	418	91.7%																									
問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	要心理	治療中	観察中																				
337	23	25	21	1	-	8	3																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
	1,968	1,858	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
							1,858																				



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人保健対策事業(機能訓練)		予	会計	一般会計	01																					
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04																					
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01																					
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人保健対策費	05																					
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																								
	疾病、外傷、老化等により心身の機能の低下している者。		心身機能に必要な訓練を行うことにより、閉じこもりを防止し、日常生活の自立を助ける。																								
事業の内容	医師・理学療法士等謝礼金		1,137千円																								
	<p>1 毎週木曜日町社会福祉センターにて実施</p> <p>2 訓練内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒防止、体力増進を目的とした体操。</li> <li>・習字、絵画、陶芸、革細工等の手工芸。</li> <li>・軽度のスポーツやレクリエーション。</li> <li>・交流会、懇親会、野外外出等。</li> </ul>																										
実施内容	<table border="1"> <tr> <td>機能訓練実施状況</td> <td>実施回数</td> <td>48回</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">被指導人員</td> <td>実人員</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>医 者</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>従事者延べ人員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						機能訓練実施状況	実施回数	48回	被指導人員	実人員	17人	医 者	12人	保健師	96人	作業療法士	13人	理学療法士	43人	看護師	45人	その他	148人	従事者延べ人員		
	機能訓練実施状況	実施回数	48回																								
被指導人員	実人員	17人																									
	医 者	12人																									
	保健師	96人																									
	作業療法士	13人																									
	理学療法士	43人																									
	看護師	45人																									
	その他	148人																									
	従事者延べ人員																										
 <p>機能訓練事業で作成した「かぼっちゃん」のちぎり絵</p>																											
事業の成果	<p>毎週木曜日の午後を生活リズムの一環として、機能訓練の時間として取り入れ、閉じこもりの予防に貢献することができました。また、障害者同士でのコミュニケーションを通して、障害の受容、生活の意欲の向上に繋げることができました。</p>																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
	1,336	1,137	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
			296	368			473																				

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	歯の健康フェア(デンタルフェア)	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797	科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	・2歳児(対象者に個別通知)	乳歯の健康は、丈夫な永久歯をつくる基となるため、乳幼児期におけるむし歯予防や生活習慣、食生活のあり方についての知識を高める。


**第13回歯の健康フェア**

開催日 平成17年10月6日(木) 予約制

【内容】 乳幼児に対しての歯科健診・フッ素塗布。保護者のみなさんへ歯磨き指導・栄養相談・手作りおやつを紹介などを行います。

1. 歯科医師による講話・歯科健診及び相談
2. 歯科衛生士による歯磨き指導及びフッ素塗布
3. 保健師による保健相談
4. 栄養士による幼児食についての相談
5. 母子保健推進員によるおやつを紹介

スタッフ 歯科医師 4名  
 歯科衛生士 8名  
 看護師 1名  
 栄養士 2名  
 保健師 7名  
 母子保健推進員 14名  
 職員 3名


事業の成果	2歳児対象者数	463人	医師診察結果				
	受信者数	109人	問題なし	要指導	要経観	要精査	要治療
	受診率	23.50%	39人	61人	3人	0人	1人

受診前調査の「相談したいこと」の中で、最も多かった回答の「仕上げ磨きを嫌がる」に対して、受診後のアンケートは「仕上げ磨きの大切さを知った・正しい歯磨きの仕方がわかった・きちんと時間を決めておやつや食事をあげようと思った」という回答が多く、予防歯科が大切であるということを多くの保護者が意識し、食生活習慣をへの意識向上が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	322	259	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							259

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	乳児健康診査	予	会計	一般会計	01																			
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04																			
連絡先	889 - 1797	科	項	保健衛生費	01																			
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01																			
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																						
	前期:3ヶ月～5ヶ月の乳児 後期:9ヶ月～11ヶ月の乳児 (1歳になるまでに2回・対象者に個別通知)	乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともに健やかに育つための育児環境づくりの支援を行う。																						
事業の実施内容	<p><b>乳児一般健診</b> (2月・4月・6月・8月・10月・12月の年6回実施)</p> <p>会場: 町立中央公民館</p> <p>健診内容 ・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲) ・尿検査(尿蛋白・尿潜血・尿糖) ・貧血検査(血色素量) ・小児科医による診察 ・栄養指導及び相談 ・保健指導及び相談</p> <p>スタッフ ・小児科医師 2名 ・検査技師 2名 ・看護師 2名 ・栄養士 1名 ・保健師 3名 ・母子保健推進員 3名 ・町職員 4名</p> <p>(対象人数によって増員)</p> <p>主な経費 沖縄県小児保健協会に委託。</p> <table border="1"> <tr> <td>乳児健診委託料</td> <td>4,283千円(1人5,350円)</td> </tr> <tr> <td>健診案内通知費</td> <td>60千円</td> </tr> <tr> <td>健診用消耗品費</td> <td>40千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4,383千円</td> </tr> </table> <p>委託料には、精密検査にかかる費用も含まれる。</p>					乳児健診委託料	4,283千円(1人5,350円)	健診案内通知費	60千円	健診用消耗品費	40千円	合 計	4,383千円											
	乳児健診委託料	4,283千円(1人5,350円)																						
健診案内通知費	60千円																							
健診用消耗品費	40千円																							
合 計	4,383千円																							
事業の成果	<p>生涯を通じて、発育の最も速やかな時期の乳児をもつ親の不安は大きいため、健診をとおして我が子の発育・発達の状況を知り、育児環境を整えていくことで、健康増進に繋げることができました。</p> <p>また、精密検査が必要と診断された乳児については、医療機関へ紹介し今後のフォローへと繋げることができました。要精査の診断で一番多かったのは「貧血」で、母乳栄養の多い乳児前期の貧血もあることから、妊娠中から鉄分の摂取に気をつけるよう指導することができました。</p>																							
	<p>平成17年度 乳幼児健診受診状況</p> <table border="1"> <tr> <th>対象者数</th> <th>受信者数</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>916</td> <td>793</td> <td>86.6%</td> </tr> </table> <p>平成17年度 乳児健診結果内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>問題なし</th> <th>要助言</th> <th>要経観</th> <th>要精査</th> <th>要治療</th> <th>治療中</th> <th>観察中</th> </tr> <tr> <td>557</td> <td>133</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>8</td> </tr> </table>					対象者数	受信者数	受診率	916	793	86.6%	問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	治療中	観察中	557	133	49	29	3	14
対象者数	受信者数	受診率																						
916	793	86.6%																						
問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	治療中	観察中																		
557	133	49	29	3	14	8																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
	4,593	4,383	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
						4,383																		




平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	妊産婦健康診査	予	会計	一般会計	01																																			
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04																																			
連絡先	889 - 1797	科	項	保健衛生費	01																																			
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01																																			
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																																						
	・一般健康診査・・・町内在住の妊産婦。 ・超音波検査・・・35歳以上の妊産婦。	母児の障害防止、とくに流産・早産・妊娠中毒症・未熟児出生の防止。																																						
事業の実施内容	・妊婦一般健診委託料 (予算額:5,472千円 決算額:5,472千円) ・消耗品など (予算額: 126千円 決算額: 85千円)																																							
	<p><b>一般健康診査</b></p> ・実施時期 前期(妊娠第5月までに1回) 後期(妊娠第6月以降に1回) ・健診内容 尿検査、血液検査、B型肝炎検査(前期のみ) ・費用 前期一人あたり6,530円 後期一人あたり6,030円																																							
事業の成果	<p><b>超音波検査</b></p> ・実施時期 後期(妊娠第8月以降に1回) ・健診内容 胎盤、羊水量、胎児の発育状況など ・費用 後期一人あたり5,000円																																							
	上記の健診結果をもとに助産師・保健師による訪問や電話等で相談・指導を行っています。  母子手帳の交付を受けた妊産婦は、母子手帳に添付されている受診票を利用して通院している産婦人科で受診します。受診票は、各産婦人科より国保連合会へ集められ、市町村毎に集計されます。国保連合会は健診結果の報告とともに健診審査費と手数料を市町村へ請求します。																																							
事業の成果	健診を受けることで、母体の疾病又は異常の早期発見及び防止になっています。また健診結果をもとに、リスクの高い妊婦に対して保健師・助産師による訪問や電話での相談等を行うことで、妊産婦の生活習慣の改善や出産に対する不安解消に役立てることができました。																																							
	<p>妊産婦健診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前期</th> <th>後期</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数</td> <td>464</td> <td>426</td> <td>890</td> </tr> <tr> <td>異常なし</td> <td>380</td> <td>146</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>有所見者</td> <td>84</td> <td>280</td> <td>364</td> </tr> <tr> <td>有所見内訳延数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  妊娠中毒症</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>  貧血</td> <td>74</td> <td>275</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>  糖尿</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>						前期	後期	合計	受診者数	464	426	890	異常なし	380	146	526	有所見者	84	280	364	有所見内訳延数				妊娠中毒症	3	3	6	貧血	74	275	349	糖尿	3	0	3	その他	7	10
	前期	後期	合計																																					
受診者数	464	426	890																																					
異常なし	380	146	526																																					
有所見者	84	280	364																																					
有所見内訳延数																																								
妊娠中毒症	3	3	6																																					
貧血	74	275	349																																					
糖尿	3	0	3																																					
その他	7	10	17																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
	5,598	5,557	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
		5,557																																						

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

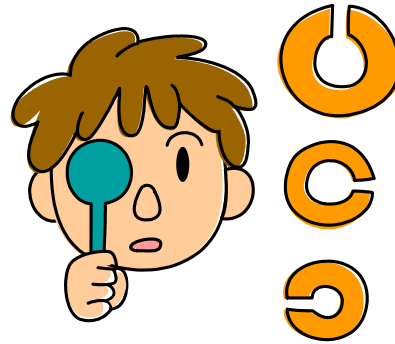
事業名	妊産婦新生児訪問指導		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保健衛生総務費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	妊産婦及び第一子で生後1ヶ月前後の新生児		産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるようにする。			
事業の実施内容	<p><b>妊婦訪問(保健師による訪問)</b></p> <p>対象: 若年妊婦・40歳以上で第1子目の妊婦・妊婦健診で要所見と診断された妊婦 その他訪問を必要とする妊婦</p> <p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態、現状などの問診</li> <li>・健康診査の励行</li> <li>・妊娠、分娩、産褥及び育児に関する知識</li> <li>・生活環境</li> <li>・乳房、乳首の手入れ</li> <li>・精神保健</li> <li>・妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行</li> <li>・家族計画等</li> </ul> <p><b>新生児・乳児及び産婦訪問(助産師・保健師による訪問)</b></p> <p>対象: 第1子目の新生児または乳児とその産婦 (第2子目以降は訪問を希望する方)</p> <p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児、産婦の健康状態などの問診</li> <li>・母乳栄養について</li> <li>・抱き方、寝かせ方</li> <li>・乳房マッサージ施行</li> <li>・予防接種について</li> <li>・新生児の生理について</li> <li>・産後の経過について</li> <li>・産後の休暇の取り方</li> <li>・事故予防について</li> <li>・母子制度の説明</li> <li>・清潔、皮膚の手入れ</li> <li>・操体法実施</li> <li>・ベビーマッサージ施行</li> <li>・オムツの当て方</li> <li>・家族計画</li> <li>・その他</li> </ul>					
	<p>新生児・乳児及び産婦訪問指導委託料 (決算額:630千円)</p> <p>助産師2名と委託契約し、年間約130件の家庭を訪問する。訪問後は助産師から町の担当保健師へ報告。継続してフォローが必要な方は再度訪問。</p>					
事業の成果	<p>指導内容の項目の他に産婦の主な相談内容としては、体重の増え、授乳相談、便について(便秘・下痢)、子育て支援情報、上の子との関係、子どもの発達について、おっぱいのトラブル、夫が非協力的などがありました。</p> <p>産前産後の最も不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問することで、相談相手となって不安や悩みの解消に役立てることができました。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	698	630	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						630



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

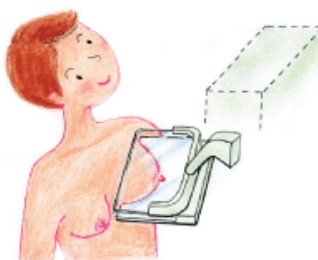
単位:千円

事業名	3歳児健診	予	会計	一般会計	01																						
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04																						
連絡先	889 - 1797	科	項	保健衛生費	01																						
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01																						
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																									
	3歳3ヶ月～4ヶ月の幼児(対象者個別通知)	幼児期における視覚、聴覚も含めた発育・発達を確認し、心身の障害を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう、育児環境に応じ保護者との相談体制を充実させる。																									
事業の概要	<p><b>3歳児健診</b> (毎月1回実施)</p> <p>会場: 町立中央公民館</p> <p>健診内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達チェック</li> <li>・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲)</li> <li>・尿検査(尿蛋白・尿潜血・尿糖)</li> <li>・眼科検査</li> <li>・小児科医による診察</li> <li>・歯科医による診察</li> <li>・歯科衛生士の指導及び相談</li> <li>・保健指導及び相談</li> <li>・栄養指導及び相談</li> <li>・心理相談</li> </ul> <p>スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医師 1名</li> <li>・歯科医師 1名</li> <li>・歯科衛生士 1名</li> <li>・検査技師 1名</li> <li>・看護師 1名</li> <li>・心理相談士 1名</li> <li>・栄養士 1名</li> <li>・保健師 3名</li> <li>・母子保健推進員 3名</li> <li>・町職員 1名</li> </ul> <p>主な経費</p> <p>沖縄県小児保健協会に委託。</p> <table border="1"> <tr> <td>3歳児健診委託料</td> <td>1,327千円</td> <td>(85,600円/月固定額 + 1人あたり470円)</td> </tr> <tr> <td>心理相談士等謝礼金</td> <td>539千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費・通知費</td> <td>289千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,155千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>委託料には、精密検査にかかる費用も含まれる。</p>					3歳児健診委託料	1,327千円	(85,600円/月固定額 + 1人あたり470円)	心理相談士等謝礼金	539千円		消耗品費・通知費	289千円		合 計	2,155千円											
	3歳児健診委託料	1,327千円	(85,600円/月固定額 + 1人あたり470円)																								
心理相談士等謝礼金	539千円																										
消耗品費・通知費	289千円																										
合 計	2,155千円																										
事業の成果	<p>精密検査が必要とされた中でも「眼科の再検」が最も多く、3歳児健診の特徴である視覚検査で成果をあげることができました。特に視力低下などは早期発見・早期治療が回復に繋がる可能性が大きいと言われていたため、この時期の検査は重要です。</p> <p>健診は子どもの健康状態を確認する良い機会なので、母子保健推進員と協力して未受診調査・勧奨等をさらに強化していきます。</p> <table border="1"> <caption>平成17年度 3歳児健診受診状況</caption> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>受信者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>446</td> <td>376</td> <td>84.3%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>平成17年度 3歳児健診結果内訳</caption> <thead> <tr> <th>問題なし</th> <th>要助言</th> <th>要経観</th> <th>要精査</th> <th>要治療</th> <th>要心理</th> <th>治療中</th> <th>観察中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>326</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					対象者数	受信者数	受診率	446	376	84.3%	問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	要心理	治療中	観察中	326	2	11	25	-	-	9	3
対象者数	受信者数	受診率																									
446	376	84.3%																									
問題なし	要助言	要経観	要精査	要治療	要心理	治療中	観察中																				
326	2	11	25	-	-	9	3																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
	2,429	2,155	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
							2,155																				



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	婦人がん検診事業		予	会計	一般会計	01																											
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04																											
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01																											
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人保健対策費	05																											
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																														
	女性で職場等で受診する機会のない方で、子宮がん検診は20歳以上。乳がんは40歳以上。		初期のがんでは症状のないことが多く、早期にがんを発見し、発病を未然に防止する。																														
事業の実施内容	婦人がん検診委託料 5,398千円 婦人がん検診通知 450千円 婦人がん検診お知らせ印刷費 76千円																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者</th> <th colspan="2">受診者</th> <th colspan="2">要所見者</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>率</th> <th>人数</th> <th>率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん</td> <td>6,672</td> <td>1,127</td> <td>16.9%</td> <td>8</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>乳がん(視触診)</td> <td>3,988</td> <td>429</td> <td>10.8%</td> <td>11</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>乳がん(視触診+マンモグラフィ)</td> <td>3,988</td> <td>488</td> <td>12.2%</td> <td>37</td> <td>7.6%</td> </tr> </tbody> </table>							対象者	受診者		要所見者		人数	率	人数	率	子宮がん	6,672	1,127	16.9%	8	0.7%	乳がん(視触診)	3,988	429	10.8%	11	2.6%	乳がん(視触診+マンモグラフィ)	3,988	488	12.2%	37
	対象者	受診者		要所見者																													
		人数	率	人数	率																												
子宮がん	6,672	1,127	16.9%	8	0.7%																												
乳がん(視触診)	3,988	429	10.8%	11	2.6%																												
乳がん(視触診+マンモグラフィ)	3,988	488	12.2%	37	7.6%																												
事業の成果	 <p><b>マンモグラフィとは?</b>                  乳房のX線写真です。従来は乳がんの精密検査の1方法として用いられてきましたが、発見率を高めるため、検診にも用いられるようになってきました。乳房は柔らかい組織なので、専用のレントゲン装置で乳房をはさんで写真を撮ります。</p>																																
	検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
	5,952	5,924	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																										
						5,924																											


平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人保健対策事業(健康相談・訪問指導・健康手帳交付)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人保健対策費	05
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	健康相談、保健指導が必要な人やその家族。健康手帳は、職場等で健診の受診の機会のない方。		心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る。			
事業の 内容	健康相談・訪問指導謝礼金 その他				385千円 81千円	
	健康手帳					
		健康手帳	交付者数			
		健康手帳	507			
	健康相談					
			開催回数	被指導延人		
		病態別健康相談	23	1,342		
		総合健康相談	94	718		
		計	117	2,060		
	訪問指導					
		指導実人員	指導延人員			
	要指導者等	213	317			
	閉じこもり予防	11	25			
	介護家族者	6	8			
	ねたきり者	6	27			
	認知症老人	2	4			
	その他	6	16			
	計	244	397			
訪問指導従事者の状況						
		保健師	管理栄養士	その他	計	
	訪問指導従事者延人員	153	21	12	186	
事業の成果	健康に関する問題を把握し、必要な指導や関係機関と連絡・調整していくことで、相談者の健康増進へつながりました。健康手帳に必要な事を記載し、自らの健康管理と適切な医療を受けるために役立っています。					
予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	515	466	150	187		129

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人保健対策事業(健康教育)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人保健対策費	05
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	健診等の結果で生活習慣病、介護を要する状態になることが予測される者。		健康に関する事項について、正しく知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る。			
事業の実施内容	健康教育謝礼金 その他		240千円 59千円			
	健康教育					
		開催回数	被指導延人			
	病態別	37	514			
一般	15	251				
計	52	765				
						
ウォーキング教室の参加者への説明会						
事業の成果	生活習慣病の予防を含め、健康的な生活が送れるよう運動や食事の大切さを学び、実践できる動機付けになりました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	304	299	114	141		44

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	住民健診(健康診査)事業		予	会計	一般会計	01																																							
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04																																							
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01																																							
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人保健対策費	05																																							
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																																										
	16歳以上で学校、職場等で健康診査を受けられない方。		健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図る。																																										
事業の内容	基本健診委託料 28,067千円 胃がん検診委託料 1,331千円 大腸がん検診委託料 724千円 肺がん検診委託料 764千円 その他 1,631千円																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者数</th> <th colspan="2">受診者</th> <th colspan="2">要所見者</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>率</th> <th>人数</th> <th>率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査(40歳以上)</td> <td>7,793</td> <td>2,413</td> <td>31.0%</td> <td>2,187</td> <td>90.6%</td> </tr> <tr> <td>健康診査(39歳まで)</td> <td></td> <td>261</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>7,793</td> <td>1,342</td> <td>17.2%</td> <td>131</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>7,793</td> <td>1,378</td> <td>17.7%</td> <td>61</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>7,793</td> <td>2,352</td> <td>30.2%</td> <td>104</td> <td>4.4%</td> </tr> </tbody> </table>							対象者数	受診者		要所見者		人数	率	人数	率	健康診査(40歳以上)	7,793	2,413	31.0%	2,187	90.6%	健康診査(39歳まで)		261				胃がん	7,793	1,342	17.2%	131	9.8%	大腸がん	7,793	1,378	17.7%	61	4.4%	肺がん	7,793	2,352	30.2%	104
	対象者数	受診者		要所見者																																									
		人数	率	人数	率																																								
健康診査(40歳以上)	7,793	2,413	31.0%	2,187	90.6%																																								
健康診査(39歳まで)		261																																											
胃がん	7,793	1,342	17.2%	131	9.8%																																								
大腸がん	7,793	1,378	17.7%	61	4.4%																																								
肺がん	7,793	2,352	30.2%	104	4.4%																																								
実施内容	町全体の有所見者割合順位																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>腹囲</td> <td>BMI</td> <td>高中性脂肪</td> <td>高血圧</td> <td>HbA1c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>53</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>BMI</td> <td>HbA1c</td> <td>高LDL</td> <td>腹囲</td> <td>高血圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>33</td> <td>31</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>							1位	2位	3位	4位	5位	男	腹囲	BMI	高中性脂肪	高血圧	HbA1c		53	40	36	33	31	女	BMI	HbA1c	高LDL	腹囲	高血圧		33	31	30	28	24									
	1位	2位	3位	4位	5位																																								
男	腹囲	BMI	高中性脂肪	高血圧	HbA1c																																								
	53	40	36	33	31																																								
女	BMI	HbA1c	高LDL	腹囲	高血圧																																								
	33	31	30	28	24																																								
事業の成果	各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
	33,139	32,517	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源																																							
			3,077	3,823		25,617																																							

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童館運営活動事業	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028	科	項	児童福祉費	02
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内在住の幼児から高校生までを対象とする。	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。

事業内容	1. 児童館の利用状況(年間延べ人数) (単位:人)					
	施設名 区分	北丘 児童館	兼城 児童館	本部 児童館	津嘉山 児童館	合計
	来館総数	23,029	12,555	24,014	25,589	85,187
	一日平均	78	43	82	88	291
	登録児童	2,039	1,107	753	1,653	5,552
	団体 利用	日数 253	176	253	261	943
		人数 4,794	2,012	9,318	4,968	21,092
	<p>一般利用は、主に幼児の保護者であり、団体利用者については、日中はほとんど保育園や学童、閉園後は、親子のサークル活動やPTA活動等に多く利用されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児クラブ(親子の活動)</li> <li>・ クラブ活動(児童の活動で、多種多様に各児童館ごとに行いました。)</li> <li>・ 子ども教室(手芸や工作、クッキング等を学びました。)</li> <li>・ キャンプやコンサートなどを4児童館合同の行事を行いました。</li> </ul> <p>主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童厚生員報酬(8名) 15,875千円</li> <li>・ コンサート等行事に伴う報償費 1,023千円</li> <li>・ 消耗品費等事務経費 1,814千円</li> <li>・ 光熱水費等施設維持管理経費 2,131千円</li> </ul>					
	 <p>本部、津嘉山児童館合同行事「川歩き」で、大宜見村平南川にて。</p>					

事業の成果	登録者は年々増え、クラブ活動も盛んになり、遊びをとおして仲間づくりや健康増進が図られた。					
-------	----------------------------------------------	--	--	--	--	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	20,996	20,843	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						20,843



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	放課後児童対策事業	予 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		款	民生費	03
連絡先	889-7028		項	児童福祉費	02
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	昼間保護者のいない家庭の幼稚園児、小学校児童。	学童保育を実施している学童クラブに補助金を交付することにより、昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とする。

事業  
放課後児童対策事業  
・南風原町学童クラブ補助金 (予算額:19,820千円 決算額:19,820千円)  
本町にある下記の7箇所の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。下表は受入児童数と補助金額となっています。

学童クラブ別児童数及び補助金一覧

(単位:千円)

学童クラブ名	児童数	補助金額
津嘉山学童クラブ	51人	2,953
こがね森学童クラブ	24人	1,996
北丘学童クラブ	47人	2,953
みやび学童クラブ	21人	1,910
ドルチェ学童クラブ	48人	2,953
学童クラブわんぱく家	48人	3,413
よなは学童クラブ	42人	3,642
合計 7学童クラブ	281人	19,820

業  
の  
実  
施  
内  
容



北丘学童クラブ行事の英会話教室終了後、外国人の先生と。


事業の成果  
昼間、保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することが出来、その健全な育成が図られた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,820	19,820		13,258			6,562



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童館母親クラブ補助金		予	会計	一般会計	01																				
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03																				
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02																				
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	児童厚生施設費	03																				
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																							
	児童館活動の対象児の母親を対象とする。		児童館での研修活動をとおして、親子の交流や児童の健全育成を図る。																							
事業の内容	<p>放課後児童対策事業                  児童館母親クラブ補助金 528千円</p> <p>町内の4つの児童館にある母親クラブに対して、町から補助金を助成しました。補助金額、会員数は下表のとおりとなっています。</p> <p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>母親クラブ名</th> <th>会員数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北丘児童館母親クラブ</td> <td>30人</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>兼城児童館母親クラブ</td> <td>31人</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>本部児童館母親クラブ</td> <td>57人</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>津嘉山児童館母親クラブ</td> <td>36人</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>154人</td> <td>528</td> </tr> </tbody> </table>						母親クラブ名	会員数	補助金額	北丘児童館母親クラブ	30人	132	兼城児童館母親クラブ	31人	132	本部児童館母親クラブ	57人	132	津嘉山児童館母親クラブ	36人	132	合 計	154人	528		
	母親クラブ名	会員数	補助金額																							
北丘児童館母親クラブ	30人	132																								
兼城児童館母親クラブ	31人	132																								
本部児童館母親クラブ	57人	132																								
津嘉山児童館母親クラブ	36人	132																								
合 計	154人	528																								
実施内容	 <p>兼城児童館母親クラブの行事「親子クッキング教室」のひとつ</p>																									
	<p>家庭や地域児童の健全育成、さらには、児童福祉の向上に役立つことをボランティアの立場で実践した。</p>																									
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算の執行状況</th> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>528</td> <td>528</td> <td></td> <td>230</td> <td></td> <td></td> <td>298</td> </tr> </tbody> </table>						予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		528	528		230			298
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
国庫支出金				県支出金	地方債	その他	一般財源																			
	528	528		230			298																			

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童措置事業(保育所運営費)		予	会計	一般会計	01				
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03				
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02				
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保育所運営事業	02				
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)						
	認可保育園在籍児童及びその保護者			家庭で保育ができない家庭の保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保する。						
事業の概要	1. 入所児童数 (平成18年3月1日現在)									
	施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
	宮平 保育所	60	6	12	13	17	18	0	66	10%
	津嘉山 保育園	120	19	24	27	32	30	0	132	10%
	兼城 保育園	90	16	17	13	20	23	15	104	16%
	はなぞの 保育園	90	8	23	16	17	21	18	103	14%
	若夏 保育園	90	15	23	17	27	22	1	105	17%
	みつわ 保育園	75	11	12	17	13	16	16	85	13%
	さんご 保育園	120	14	30	21	25	28	18	136	13%
	はえばる 保育園	120	15	33	25	30	31	0	134	12%
	マイフレンズ保	90	14	18	23	25	22	0	102	13%
	ていだ 保育園	90	12	24	18	23	22	0	99	10%
	なのはな 保育園	60	6	11	17	14	14	3	65	8%
	合計	1,005	136	227	207	243	247	71	1,131	13%
実施内容	2. 運営費・3歳以上主食費支弁額 (平成17年度合計金額)									
	施設名	運営費	3歳以上児主食費							
	津嘉山 保育園	120,570	376							
	兼城 保育園	96,786	357							
	はなぞの 保育園	89,357	338							
	若夏 保育園	103,222	291							
	みつわ 保育園	80,261	275							
	さんご 保育園	113,075	429							
	はえばる 保育園	119,595	373							
	マイフレンズ保	97,619	288							
	ていだ 保育園	92,988	269							
	なのはな 保育園	66,232	180							
	大隅北 保育園	550	0							
	合計	980,255	3,176							
事業の成果	平成17年度より、さんご保育園(+30名)、ていだ保育園(+30名)の定員増と、なのはな保育園(+60名)の認可化に伴い、合計120名の定員増を行い待機児童の解消を図るとともに、保育環境の整備に努め入所児童の心身の健全な発達を促しました。									
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
982,092		983,431	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
			340,830	170,415			472,186			

保育園でお遊戯する園児



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	特別保育事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7028		科	項	児童福祉費	02	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保育所運営事業	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内の子育て家庭。		家庭で保育を行っている親など、町内の子育て家庭への育児支援を目的とする。				
事業の実施内容	1. 子育て支援事業						
	主な経費						
		地域子育て支援センター臨時職員賃金	3,321	千円			
		法人保育園地域子育て支援センター補助金	7,790	千円			
		その他の経費	4,469	千円			
	2. 一時保育事業						
	主な経費						
		一時保育事業臨時職員賃金	1,626	千円			
		法人保育園一時保育事業補助金	2,160	千円			
		その他の経費	88	千円			
事業の成果	特別保育事業を実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、保育の充実と町内の子育て家庭への支援が図られた。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	19,566	19,454	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				12,952		2,185	4,317

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

事業名	乳児保健事業	予	会計	一般会計	01		
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04		
連絡先	889-1797	科	項	保健衛生費	01		
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01		
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)					
	妊産婦及び乳児(4ヶ月～6ヶ月)	妊娠・分娩・育児に関する学習会や個別相談をと おして、母子の健康の保持と乳児の健全な発育発 達を図ると共に、親同士の交流・仲間づくりを推進す る。					
事業の実施内容	主な経費 ・講師謝礼金 (予算額:538千円 決算額:536千円) ・消耗品費など (予算額:210千円 決算額:186千円) <b>マタニティクラス(偶数月に週1回の4回開催)</b>						
		内 容	講 師				
	1回目	講話「ママとベビーの心の架け橋づくり」	文学療法セラピスト				
	2回目	お産の経過と過ごし方	助産師				
	3回目	妊婦体操・弛緩法・呼吸法の実習	助産師				
	4回目	講話・実習「妊産婦の栄養について」	栄養士				
							
		<b>赤ちゃんすこやか広場(奇数月に週1回の3回開催) *申込制</b>					
		内 容	講 師				
	1回目	開校式 講話「子どもの発達について」 実習「ベビーマッサージ」 個別相談・交流	助産師・保健師				
2回目	離乳食実習 個別相談・交流	栄養士					
3回目	講話「予防接種・事故予防について」 子育て支援センター・子育てサロンの紹介 講話「子どもの発達に応じたあそび・絵本の紹介」 手作りおもちゃの紹介・制作 個別相談・閉校式	保育士・保健師					
事業の成果	<b>マタニティクラス参加者 62名(延べ150名)</b> *アンケートより(抜粋) ・出産のときは赤ちゃんも一緒に頑張っているんだと思った。自分も頑張ろう! ・知識を身につけることで不安が減った ・出産には楽しみも喜びもあるんだと思った ・出産のイメージができた ・自信がついた ・精神的に落ち着いた ・心構えができた ・安心できる教室だった ・食事の重要性を知り、食生活を改めようと思った 文学セラピスト・助産師・栄養士・保健師、それぞれ各分野の専門指導によって、妊娠・出産の不安 を和らげることができました。 <b>赤ちゃんすこやか広場参加者 86名(延べ247名)</b> 子育て中の親同士が集まり共に学習し、専門の講師より助言をうけることで育児不安を解消するこ とができました。また、親同士の交流をとおして気分転換することで母親のストレス解消にもなりまし た。個別相談では、乳児の健康状態・発達状況を確認。予防接種や各保健事業への勧奨、子育て サロン・子育て支援センターへの案内など、子育てに関する情報提供ができました。アンケートでは、 乳児後期にもこのような教室を開催してほしいという意見が多数ありました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	748	722	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							722



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	母子保健推進事業		予	会計	一般会計	01													
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	04													
連絡先	889 - 1797		科	項	保健衛生費	01													
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	保健衛生総務費	01													
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																
	妊産婦、乳幼児のいる家庭		健やかな赤ちゃんを産み、すべての子供達が心身共に健康に育つよう、地域に密着した活動を行うため、各地区に推進員を配置し母子保健活動の推進を図る。																
事業の実施内容	<p>母子保健推進員(予算額1,651千円/決算額1,376千円) 町から委任された各地区の母子保健推進員22名が、行政と家庭とのパイプ役となり下記の活動行いました。</p> <p>1.担当地区での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティ教室の案内・・・ 母子事業のスタート時期であり、案内を届けることで家庭と推進員の顔合わせも兼ねて行いました。</li> <li>・乳児訪問…………… 生後2ヶ月までの最も育児不安を感じやすい時期であり、援助を必要とする母親の相談相手となりました。</li> <li>・乳幼児健診の未受診調査 次回の健診への受診勧奨、発育状況の確認を行いました。</li> </ul> <p>2.母子保健事業での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診や各事業での受付業務、健診補助、健診のかたづけ、子供のお世話など</li> </ul> <p>3.その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉まつり…………… 推進員のPRも兼ねながら、町民とのふれあいを目的として手作りコーナーを設置しました。</li> <li>・推進員定例会/研修会…………… 毎月第3水曜日に定例会を開催。活動報告のほか母子保健に必要な知識の習得や情報交換を行いました。</li> </ul>																		
	 <p>保健事業でのお手伝いをしています。 (デンタルフェアでの染め出しコーナー)</p>																		
事業の成果	<p>離乳食実習(予算額356千円/決算額280千円)</p> <p>生後4～6ヶ月児と父母を対象に年6回、離乳食実習を開催しています。離乳初期～離乳完了期までの食事の作り方、離乳食のすすめ方などを栄養士から実習を通して学びました。実習後は試食をして、個別に栄養相談・保健相談を行いました。</p> <p>母子栄養強化ミルク費(予算額13千円/決算額4千円)</p>																		
	<p>妊産婦や乳幼児の健康の保持増進のため、健診等の保健事業への受診勧奨や受け持ち地域での訪問等を実施しながら、母親達の相談相手になっています。また、推進員による勧奨をうけて、健診未受診者が受診するなどの成果もでています。</p> <p>そして、保健事業では健診での受付業務や測定係などをこなし、健診をスムーズに進めることができました。</p>			<p>母子保健推進員の訪問活動状況</p> <table border="1"> <tr> <td>推進員数</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>健診未受診者への受診勧奨</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>各種申請の相談</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>母親学級へのすすめ</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>乳児訪問</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>その他の相談</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>訪問件数合計</td> <td>562</td> </tr> </table>			推進員数	22	健診未受診者への受診勧奨	138	各種申請の相談	1	母親学級へのすすめ	232	乳児訪問	189	その他の相談	2	訪問件数合計
推進員数	22																		
健診未受診者への受診勧奨	138																		
各種申請の相談	1																		
母親学級へのすすめ	232																		
乳児訪問	189																		
その他の相談	2																		
訪問件数合計	562																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
	2,020	1,660					1,660												

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	寝たきり老人見舞金支給事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889 - 4416 ・ 889 - 7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	6ヶ月以上引き続きねたきりの状態にある65歳以上の者		ねたきり老人に対し見舞金を支給することにより、これらの者の福祉増進を図ることを目的とする。			
事業の内容	ねたきり老人見舞い金支給実績					
	人数: 28人 支給実績額: 280千円					
事業の成果	家族の経費を一部負担することで軽減し、福祉の増進が図れた。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	300	280				280

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	生活管理指導事業(短期宿泊)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-4416・889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	おおむね65歳以上の要援護高齢者であつて、虚弱、痴呆などで日常生活を営むのに支障がある者または、介護保険要介護認定によりサービス給付の対象から外れた者その他町長が必要と認めた者とする。		自宅などで高齢者の介護を行っている介護者が病気・冠婚葬祭・出産・災害・出張等の社会的理由や、介護疲れによる休養や旅行等の私的な理由で介護をすることができない際に、一時的に老人ホームに短期入所させる。			
事業の実施内容	平成17年度実績なし					
	該当する申請者がいなかった。					
事業の成果						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	265	0				0



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	軽度生活援助事業		予	会計	一般会計	01																			
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																			
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01																			
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02																			
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																						
	南風原町に住所を有し、かつ居住するおおむね65歳以上の者であつて、日常生活を営ことに支障がある、介護保険の要介護認定により非該当となった者または、その他町長が必要と認められた者		介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営ことに支障がある高齢者に対してホ-ムヘルパ-を派遣して、家庭内の整理整頓や、食材の確保等の支援を実施し、健全で安全な生活を営む事ができるようその自立と社会参加を図る。																						
事業の内容	介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営ことに支障がある高齢者に対してホ-ムヘルパ-を派遣して、家庭内の整理整頓や、食材の確保等の支援を実施し、健全で安全な生活を営む事ができるようその自立と社会参加を図る																								
	<p>実人数 : 9人</p> <p>延人数 : 119人 608回 (908 時間)</p> <p>人件費 973千円                      消耗品 180千円                      燃料費 17千円                      通信運搬費 10千円                      合計 1,180千円</p> <p>軽度生活援助事業利用者行政区別内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行政区</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>与那覇</td><td>3人</td></tr> <tr><td>新川</td><td>1人</td></tr> <tr><td>宮平</td><td>2人</td></tr> <tr><td>兼城</td><td>5人</td></tr> <tr><td>本部</td><td>1人</td></tr> <tr><td>津嘉山</td><td>2人</td></tr> <tr><td>第二団地</td><td>1人</td></tr> <tr><td>兼本ハイツ</td><td>1人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>16人</td></tr> </tbody> </table>					行政区	実人数	与那覇	3人	新川	1人	宮平	2人	兼城	5人	本部	1人	津嘉山	2人	第二団地	1人	兼本ハイツ	1人	合計	16人
行政区	実人数																								
与那覇	3人																								
新川	1人																								
宮平	2人																								
兼城	5人																								
本部	1人																								
津嘉山	2人																								
第二団地	1人																								
兼本ハイツ	1人																								
合計	16人																								
事業の成果	ホ-ムヘルパ-を派遣し高齢者の福祉の増進が図れた。																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,180	1,180				105	1,075																		

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人日常生活用具給付事業		予	会計	一般会計	01																	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																	
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01																	
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02																	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																				
	町に住所を有するおおむね65歳以上の虚弱な高齢者で、介護保険給付サービス対象外者または、自立支援又は介護予防の必要性が顕著にみられる者。これの他に福祉電話の対象者については、一人暮らしの高齢者又はこれに準ずる高齢者の世帯とし、介護保険要介護認定者も対象とする。その他町長が必要と認める者		要介護のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し日常生活上の便宜を図り、日常生活用具の給付・貸与をする。																				
事業の実施内容	要介護のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し日常生活上の便宜を図り、日常生活用具の給付・貸与をする。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用具等</th> <th>利用者人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災警報器</td> <td>1人</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>ポータブルトイレ</td> <td>2人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td>2人</td> <td>58千円</td> </tr> <tr> <td>福祉電話</td> <td>4人</td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9人</td> <td>114千円</td> </tr> </tbody> </table>						用具等	利用者人数	金額	火災警報器	1人	8千円	ポータブルトイレ	2人	18千円	手すり	2人	58千円	福祉電話	4人	30千円	合 計	9人
用具等	利用者人数	金額																					
火災警報器	1人	8千円																					
ポータブルトイレ	2人	18千円																					
手すり	2人	58千円																					
福祉電話	4人	30千円																					
合 計	9人	114千円																					
事業の成果	日常生活用具の給付で利用者が健全で安全な生活を営むことができた。																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
	185	114	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
				14			100																

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	補装具給付事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体障がい者		身体障がい者及び身体障がい児の失われた身体機能を補完又は代償する用具であり、身体障がい者の職業その他日常生活の能率の向上を図ることを目的として、また、身体障がい児については将来、社会人として自立するための素地を育成・助長すること等を目的として給付される。				
事業の実施内容	補装具給付事業 7,310千円						
	身体障がい者補装具給付(修理含む)	件数	金額				
	義足	3件	437千円				
	下肢装具	7件	779千円				
	補聴器	46件	747千円				
	車椅子(電動含む)	13件	1,812千円				
	ストマ用装具	120件	1,039千円				
	その他	13件	352千円				
	計	82件	5,166千円				
	身体障がい者補装具給付(修理含む)	件数	金額				
座位保持装置	3件	311千円					
下肢装具	6件	554千円					
補聴器	34件	596千円					
車椅子(電動含む)	2件	292千円					
ストマ用装具	14件	286千円					
その他	3件	31千円					
計	62件	2,070千円					
その他の経費			74千円				
<p>実際には、国庫支出金5,447千円、県支出金2,481千円が入ってきていますが、翌年度(平成18年度)に精算し、事業実績との差額分を返還します。</p>							
事業の成果	給付することにより、障がい者の社会参加促進につながった。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	7,874	7,310	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,618	1,809			1,883

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	更生訓練費給付事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体障がい者		身体障がい者更生施設及び授産施設において訓練を受けている身体障がい者に対し当該訓練をより効果的に受けることができるよう支給するもので、更生意欲を助長し社会復帰の促進を図る。				
事業の実施内容	更生訓練費給付事業		942千円				
	施設通所者に対しては通勤手当等の役割を果たしているが、入所者に対しては、現金給付となり、社会復帰の成果は果たしていないと考える。入所者への給付に関しては再考すべきである。						
事業の成果							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	1,067	942	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				777			165

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	心身障害者居宅介護支援費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体・知的障がい者		居宅において日常生活ができるよう、心身障がい者の家庭等にホームヘルパーを派遣して入浴等の介護、家事など必要な便宜を供与することにより、心身障がい者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図ることを目的とする。				
事業の実施内容		利用人数	利用時間	金額			
	身体障がい者	35 名	2,980 時間	10,584千円			
	知的障がい者	2 名	11.5 時間	399千円			
	障がい児童	11 名	1140.5 時間	4,206千円			
	計	48 名	4,132 時間	15,189千円			
事業の成果	心身障がい者の自立と社会参加を促進し、もって心身障がい者の福祉の増進を図ることができた。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	15,339	15,189	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,506	3,697			3,986

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	心身障がい者短期入所支援費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	心身障がい者		心身障がい者の介護を行う者の疾病その他の理由により、一時的な入所が必要な心身障がい者を保護することを目的とする。				
事業の実施内容	身体障がい者	769千円					
	知的障がい者	432千円					
	障がい児童	732千円					
事業の成果	短期入所を行うことにより本人及びその家族のストレス解消につながり、負担解消につながった。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	2,048	1,933	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			833	331			769

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	日常生活用具給付事業(障がい者)		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体・知的障がい者		在宅の重度身体障がい者に対し、浴そう等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。				
事業の内容	日常生活用具給付事業						
		件数	金額				
	身体障がい者日常生活用具給付						
	盲人用時計	2件	20千円				
	特殊寝台	2件	307千円				
	歩行支援用具	2件	55千円				
	住宅改修	3件	538千円				
	視覚障がい者用文字読み上げ装置	2件	200千円				
	その他	8件	149千円				
	計	19件	1,269千円				
	身体障がい児日常生活用具給付	件数	金額				
	聴覚障がい者用通信装置(FAX)	1件	24千円				
	ネブライザー(吸入器)	2件	48千円				
	電気式たん吸引器	2件	108千円				
	計	5件	180千円				
事業の成果	在宅の重度障がい者に対して、浴槽などの日常生活腰部を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜が図れました。また、日常生活用具は主にレディーメイド(既製品)であるので、インターネットや量販店で購入し、廉価で給付することができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,950	1,449	0	1,095			354



平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	進行性筋萎縮症者措置費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	進行性筋萎縮症者(筋ジストロフィー)		進行性筋萎縮症に罹患している身体障がい者(2名)に対し、療養にあわせて必要な訓練等を行い、その福祉の増進を図ることを目的とする。				
事業の概要	進行性筋萎縮症者措置費(2名) 国立病院機構沖縄病院						
	8,285千円						
事業の成果	進行性筋萎縮症に罹患している身体障がい者に対し、療養にあわせて必要な訓練等を行い、その福祉の増進を図ることができた。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,775	8,285	0	6,319			1,966

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	生きがい活動支援通所事業(地域型)		予	会計	一般会計	01																																										
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																																										
連絡先	889-4416・889-7381		科	項	社会福祉費	01																																										
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02																																										
事	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																																												
業	おおむね60歳以上の者であつて、介護保険給付サービス非該当者または、家に閉じこもりがちな一人暮らし高齢者、要介護状態になるおそれのある高齢者等及びその他町長が必要と認める者			地域の公民館・集会所等を拠点にして、健康チェック、レクレーション、趣味活動を提供する。高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進し、社会的孤立感の解消や自立した生活の支援を行う。																																												
の	施設型(嬉の里) 実人数 8人 延べ人数: 33人 利用時間: 112時間 対象経費: 370千円																																															
実	地域型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>自治会名</th> <th>利用者実人</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>宮城</td><td>23</td><td>269</td></tr> <tr><td>宮平</td><td>23</td><td>122</td></tr> <tr><td>兼城</td><td>40</td><td>125</td></tr> <tr><td>本部</td><td>32</td><td>270</td></tr> <tr><td>喜屋武</td><td>36</td><td>411</td></tr> <tr><td>照屋</td><td>19</td><td>202</td></tr> <tr><td>津嘉山</td><td>60</td><td>530</td></tr> <tr><td>山川</td><td>22</td><td>165</td></tr> <tr><td>神里</td><td>26</td><td>201</td></tr> <tr><td>兼本ハイツ</td><td>17</td><td>64</td></tr> <tr><td>第二団地</td><td>16</td><td>162</td></tr> <tr><td>福祉センター</td><td>12</td><td>103</td></tr> <tr><td>合計</td><td>326</td><td>2,624</td></tr> </tbody> </table>						自治会名	利用者実人	延べ人数	宮城	23	269	宮平	23	122	兼城	40	125	本部	32	270	喜屋武	36	411	照屋	19	202	津嘉山	60	530	山川	22	165	神里	26	201	兼本ハイツ	17	64	第二団地	16	162	福祉センター	12	103	合計	326	2,624
自治会名	利用者実人	延べ人数																																														
宮城	23	269																																														
宮平	23	122																																														
兼城	40	125																																														
本部	32	270																																														
喜屋武	36	411																																														
照屋	19	202																																														
津嘉山	60	530																																														
山川	22	165																																														
神里	26	201																																														
兼本ハイツ	17	64																																														
第二団地	16	162																																														
福祉センター	12	103																																														
合計	326	2,624																																														
施	対象経費: 6,394千円																																															
内																																																
容																																																
事																																																
業																																																
の	高齢者の生きがいと、健康づくりや社会参加を促進し、社会的孤立感の解消が図れた。																																															
成																																																
果																																																
予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
	7,252	6,764	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源																																										
					445	6,319																																										

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	食の自立支援事業(配食サ-ビス)		予	会計	一般会計	01								
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03								
連絡先	889-4416・889-7381		科	項	社会福祉費	01								
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02								
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)											
	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者並びに身体障がい者であって、食の自立支援の観点からサービスを利用すること適切である者		高齢者の食生活の確保と健康維持を図るとともに、安全の確認をするなどの支援を行う。											
事業内容	経費：配食サービス事業委託料 7,300千円		ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等で食事を作ることが困難な方に、食事を配達し、栄養面を充実させるとともに、併せて安否確認を行う。											
	自治会別月別配食実績													
自治会名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	与那覇	人数 回数	3 52	3 50	3 55	3 52	5 72	5 87	5 84	5 76	7 74	5 53	5 53	7 93
宮城	人数 回数	3 96	3 90	3 96	3 96	3 85	2 80	2 80	2 80	2 84	2 76	2 76	2 88	29 1027
	大名	人数 回数	1 8	1 8	1 8	1 9	1 8	1 8	1 8	1 9	1 8	2 25	2 30	14 137
新川	人数 回数	7 94	5 52	5 45	5 51	6 68	5 67	4 48	4 48	4 57	4 64	4 66	4 74	57 734
	宮平	人数 回数	4 55	4 61	4 56	5 85	5 107	4 78	4 71	5 96	5 105	3 56	4 71	4 97
兼城	人数 回数	4 68	6 82	7 98	7 102	8 97	6 84	7 116	7 131	7 138	6 93	6 104	7 123	78 1236
	本部	人数 回数	1 11	3 48	3 44	2 32	2 33	2 30	2 31	2 31	2 28			1 14
喜屋武	人数 回数	3 64	3 60	3 66	3 63	3 66	3 62	3 64	3 62	2 56	2 55	2 58	2 58	32 734
	照屋	人数 回数	2 40	2 38	2 42	2 40	2 40	2 40	2 40	2 40	2 38	2 36	2 40	2 44
津嘉山	人数 回数	9 167	8 150	7 152	8 129	8 175	8 149	8 149	8 147	11 232	11 195	11 227	9 213	106 2085
	山川	人数 回数	1 12	2 24	2 26	2 24	2 24	2 22	3 27	2 24	2 24	2 18	1 12	1 14
神里	人数 回数	3 32	3 27	3 24	3 30	3 18	1 7	1 8	1 8	1 7	1 6	1 8	2 18	23 193
	兼本ハイツ	人数 回数	2 39	2 33	2 35	3 39	2 49	2 55	2 53	2 53	2 20	2 29	1 17	1 23
第一団地	人数 回数	1 12	1 7								1 6	1 20	1 22	5 67
	第二団地	人数 回数	3 115	4 106	4 152	3 99	3 107	3 93	2 62	2 57	2 59	1 33	3 78	3 99
合計	人数 回数	47 865	50 836	49 899	50 851	53 949	46 862	46 841	46 862	50 930	43 728	45 855	48 1010	573 10488
	事業の成果	おおむね65歳以上の単身高齢者、高齢者のみの世帯やこれに準じる世帯の高齢者等で、調理が困難な方への配食サ-ビスを実施し安全の確認と健康の維持が図れました。												
予算の執行状況	予算額	7,300	決算額	7,300	決算額の財源内訳			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	3,146	一般財源	4,154

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	家族介護者等支援交流事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	介護の必要とされる高齢者や、認知症の高齢者などを自宅で介護している家族		家族との交流や情報交換、レクレ-ションを通して日頃の介護疲れを軽減し心身のリフレッシュを図る。				
事業の実施内容	1) 家族介護者交流事業 決算事業費:230千円						
	<p>介護者一泊交流会 期日:平成17年11月24日(木)~25日(金) 場所:本部町、古宇利島 参加者:17名(介護者14名) 宿泊:マリンピアザオキナワ 内容:古宇利島見学・ピアザワン乗船・グラウンドゴルフ・北部ラン展示会見学</p> <p>新年会 日時:平成18年1月27日(金) 12:30~15:00 場所:町社会福祉センター 参加者:31名(介護者15名) 内容:琉舞・日舞・レク等</p> <p>ピクニック 日時:平成18年3月23日(木) 10:30~16:30 場所:玉泉洞他 参加者:19名(介護者16名) 内容:西海岸道路ドライブ・バイキング式の昼食</p>						
事業の実施内容	2) 家族介護教室 決算事業費:160千円						
	<p>健康づくり教室 期日:平成17年7月29日(金) 場所:町福祉センター 参加者:15名(介護者15名) 内容:操体法の実践 講師:島袋春美氏</p> <p>介護教室 平成17年度は6回の教室を開催し、在宅で家族を介護している方が、介護の方法や保健・福祉制度及び介護者自身の健康づくりについて学ぶことで、介護の精神的・身体的負担の軽減を図る内容で、各教室では平均33名の参加者で開催されました。</p>						
事業の成果	日頃の介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュが図れました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	450	390	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				292			98

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ふれあいコールサービス事業		予	会計	一般会計	01																					
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																					
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01																					
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02																					
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																								
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯		家族高齢者や高齢者のみの世帯にたいし、週3回のふれあいコールをして、心のふれあいや健康状態を確認した。																								
事業の実施内容	利用者人数 : 14名 延べ利用者人数: 1,560人																										
	主な経費																										
	ふれあいコールサービス事業委託料		295千円																								
	非常勤給与等		116千円																								
	謝礼金		83千円																								
	消耗品費		31千円																								
	通信運搬費		60千円																								
	雑費		5千円																								
	ふれあいコールサービス事業利用者行政区別内訳																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行政区</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>宮城</td><td>1</td></tr> <tr><td>新川</td><td>1</td></tr> <tr><td>宮平</td><td>3</td></tr> <tr><td>兼城</td><td>3</td></tr> <tr><td>津嘉山</td><td>1</td></tr> <tr><td>山川</td><td>1</td></tr> <tr><td>兼本ハイツ</td><td>1</td></tr> <tr><td>第一団地</td><td>1</td></tr> <tr><td>第二団地</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14</td></tr> </tbody> </table>						行政区	実人数	宮城	1	新川	1	宮平	3	兼城	3	津嘉山	1	山川	1	兼本ハイツ	1	第一団地	1	第二団地	2	合計
行政区	実人数																										
宮城	1																										
新川	1																										
宮平	3																										
兼城	3																										
津嘉山	1																										
山川	1																										
兼本ハイツ	1																										
第一団地	1																										
第二団地	2																										
合計	14																										
事業の成果	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の皆さんの健康チェックや心のふれあいができました。																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
	369	295	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
							295																				

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	外出支援サービス事業		予	会計	一般会計	01																																																			
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																																																			
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01																																																			
施策の大綱	地域福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02																																																			
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																																																						
	本町に住所を有し、おおむね65歳以上の在宅高齢者であつて、一般の交通機関を利用することが困難な者とする。または、おおむね60歳以上の在宅高齢者であつて、下肢が不自由な者を含むものとする。		移送用車両により高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎、高齢者の居宅と在宅福祉サービスや介護予防・地域支え合い事業等を提供する場所との間の送迎																																																						
事業内容	<p>経費 外出支援サービス事業委託料 (委託先:町社会福祉協議会)</p> <p>利用者延べ数 高齢者 478人 生きがい 293人</p> <p>利用者実費収入額 96千円 (委託先である町社会福祉協議会の収入)</p> <p>外出支援サービス事業利用者行政区別内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">行政区</th> <th colspan="3">実人数</th> </tr> <tr> <th>高齢</th> <th>生きがい</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>宮城</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>新川</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>宮平</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>兼城</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>照屋</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>津嘉山</td><td>4</td><td>12</td><td>16</td></tr> <tr><td>神里</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>兼本ハイツ</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>東新川</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>第二団地</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>15</td><td>14</td><td>29</td></tr> </tbody> </table> <p>内訳表の高齢の項目は高齢者の医療機関等との間の送迎生きがいは高齢者の居宅と在宅福祉サービスや介護予防・地域支え合い事業等を提供する場所との間の送迎</p>						行政区	実人数			高齢	生きがい	合計	宮城	1	0	1	新川	2	0	2	宮平	2	0	2	兼城	3	0	3	照屋	0	1	1	津嘉山	4	12	16	神里	1	0	1	兼本ハイツ	1	1	2	東新川	1	0	1	第二団地	0	0	0	合 計	15	14	29
	行政区	実人数																																																							
高齢		生きがい	合計																																																						
宮城	1	0	1																																																						
新川	2	0	2																																																						
宮平	2	0	2																																																						
兼城	3	0	3																																																						
照屋	0	1	1																																																						
津嘉山	4	12	16																																																						
神里	1	0	1																																																						
兼本ハイツ	1	1	2																																																						
東新川	1	0	1																																																						
第二団地	0	0	0																																																						
合 計	15	14	29																																																						
事業の成果	高齢者が気軽に外出することで豊かな明るい日常生活を営むことができました。																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
	2,470	2,470	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
						2,470																																																			



平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	精神障害者訪問介護事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	08	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	精神障がい者で低所得者の方		精神に障がいのある人の自宅に訪問員(ホ - ムヘルパ - )を派遣して日常生活の世話や介護を行う。				
事業の実施内容	精神障害者訪問介護事業 利用者1名  214千円						
事業の成果	精神に障がいのある人の自宅に訪問員(ホ - ムヘルパ - )を派遣して日常生活の世話や介護を行い自立更生の促進を図ることができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	588	214		160			54

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	心身障害者(児)デイサービス支援費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	心身障がい者		心身障がい者の自立と社会参加の促進、生活の改善、身体の機能の維持向上等を図ることができるよう、通所により創作的活動、機能訓練等の各種のサービスを提供し、福祉の増進を図ることを目的とする。				
事業の実施内容	心身障がい者デイサービス支援費		10,611千円				
	<身体障がい者>		18年3月末現在 1,772千円				
	<知的障がい者>		4,851千円				
	<障がい児童>		3,988千円				
事業の成果	心身障がい者の自立の促進、生活の改善、身体の機能の維持向上等を図ることができています。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	10,778	10,611	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,327	2,583			2,701

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	知的障害者地域生活援助支援事業(グループホーム)		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	知的障がい者で日中就労している者		地域の中にある知的障がい者グループホーム(共同生活)を営む知的障がい者に対し、食事提供等の生活援助体制を備えた形態での生活を望む知的障がい者に対し、日常生活における援助等を行うことにより、知的障がい者の自立生活を助長することを目的とする。				
事業の実施内容	<知的障がい者>		18年3月末現在				
	2名		3,155千円				
	サザンウインズ		1名				
	わかば		1名				
事業の成果	知的障がい者の就労支援に成果が出ています。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	3,163	3,155	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,577	788			790

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会事業授産施設措置費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	コロニー印刷利用者 (身体障がい者で低所得者の方)		社会事業授産施設等を利用している身体障がい者に対し施設事務費の補助を行い、併せてこれらの者の勤労意欲の助長及び自立更生の促進並びに施設の運営強化を図ることを目的とする。				
事業の実施内容	社会事業授産施設措置費 コロニー印刷就労者(2名)						
	950千円						
事業の成果	身体障がい者の勤労意欲の助長及び自立更生の促進並びに施設の運営強化を図ることができています。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	953	950	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				503			447

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	障害者支援費管理システム導入		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	身体・知的障がい者		心身に障がいのある人(児童)が、福祉サ - ビスを利用するときの手続きや事務を効率よく行うためのシステムの経費です。また、利用状況の把握が容易にでき、充実したサ - ビスを行います。			
事業の実施内容	障がい者支援費管理システム導入		金額 466千円			
	障がい者支援費管理システム導入					
事業の成果	心身に障がいのある人(児童)が、福祉サビ - スを利用するときの事務を効率良く行えました。また、利用状況の把握、充実したサビ - スの提供ができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	467	466				466

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	更生医療給付事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体障がい者		心臓やじん臓、四肢に障がいがある者に医療を施すことで、身体が更生することを目的とする(心臓手術・血液透析・関節手術等)				
事業の実施内容	関節手術	301千円					
	心臓手術	3,789千円					
	血液透析等	11,127千円					
	免疫機能障がい等	446千円					
事業の成果	特に心臓手術においては身障手帳の同時申請で、早急に対応し申請者の負担の軽減を図ることができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	15,852	15,663	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,215	3,607			4,841




平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	身体障害者・知的障害者見舞金		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	心身障がい者福祉費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	身体・知的障がい者		心身に障がいのある方に見舞金を支給して福祉増進を行う。			
事業の実施内容	事業内容					
	身体障がい者・知的障がい者見舞金		5,330千円			
	身体障がい者1級	10千円				
	身体障がい者2級	8千円				
	身体障がい者3級	5千円				
知的障がい者	10千円					
事業の成果	障がいのある方に見舞金を支給することにより、福祉の増進を図りました。平成18年度より事業廃止になりました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	5,553	5,330	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						5,330

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	重度心身障害者(児)医療費助成事業	予	会計	一般会計	01						
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班	算	款	民生費	03						
連絡先	889-7381 889-4416	科	項	社会福祉費	01						
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	心身障がい者福祉費	03						
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)									
	心身に重度の障がいがある者(児)	重度心身障がい者(児)に対し、医療費の一部を助成することにより、保健の向上と福祉の増進を図ります。									
事業の実施内容	<p>【制度のしくみ】</p> <p>重度心身障がい者(児)医療費助成では、保険医療にかかる医療費の自己負担分(高額療養費や付加給付など、他から助成を受ける分は除外する)を払い戻しする制度です。</p> <p>次の手帳をお持ちの方が対象になります。 申請をすると、黄色のカード(重度心身障がい者(児)医療費助成受給者証)が交付されます。毎年8月に所得制限を行っているため、更新があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体障がい者手帳1級又は2級の方</li> <li>2. 療育手帳A1(最重度)又はA2(重度)の方</li> <li>3. 身体障がい者手帳3級かつ療育手帳B1(中度)の方</li> <li>4. 療育手帳B1で特別児童扶養手当1級の支給対象児童</li> <li>5. 療育手帳B1で障がい基礎年金1級を受給している方</li> </ol> </div> <p>医療機関(病院、調剤薬局、歯科など)にかかると、加入している保険内容に応じて1～3割支払いします。その領収書を持って、役場窓口(2階高齢・障がい福祉課)で申請すると、申請した翌月の20日に保険診療分の自己負担を指定の口座に振り込み致します。</p> <p><u>領収書の期限が1年ですので、1年以内に申請しなければ無効になりますのでご注意ください。</u></p> <p>【平成17年度 助成実績】 受給資格者数 : 494人 (うち支給実人員数 315人)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">一部負担金(医療費)</td> <td style="text-align: right;">34,368千円</td> </tr> <tr> <td>入院時食事療養費</td> <td style="text-align: right;">7,693千円</td> </tr> <tr> <td>訪問看護療養費</td> <td style="text-align: right;">215千円</td> </tr> </table> 					一部負担金(医療費)	34,368千円	入院時食事療養費	7,693千円	訪問看護療養費	215千円
	一部負担金(医療費)	34,368千円									
入院時食事療養費	7,693千円										
訪問看護療養費	215千円										
事業の成果	<p>重度心身障がい者(児)医療費助成の受給者の特徴として、長期での通院や長期入院を強いられている方が多く、一人あたりの医療費が高額になっています。 そのため、この医療費助成制度は障がいをもつ方自身に加え、その生活を支えている家族の経済的負担を軽減する意味でも役立っています。</p>										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
	43,009	42,276	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
				21,130			21,146				

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	母子及び父子家庭等医療費助成事業	予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班	算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381 889-4416	科	項	児童福祉費	02	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	児童福祉総務費	01	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)				
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する父母のいない児童	母子家庭や父子家庭に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、もって母子家庭等の福祉の増進を図ります。				
事業の内容	<p>【制度のしくみ】 母子及び父子家庭等医療費助成では、18歳未満の児童を扶養している母子及び父子家庭等に対し、保険医療にかかる医療費の自己負担分(高額療養費や付加給付など、他から助成を受ける分は除外する)から一部負担金を控除した額を払い戻しする制度です。</p> <p><b>一部負担金</b> 通院の場合 …… 1月1診療機関につき 1,000円 入院の場合 …… 1日につき 700円(市町村民税非課税の場合 300円)</p> <p>申請をすると、水色のカード{母子及び父子家庭等医療費受給者証}が交付されます。毎年8月に所得制限を行っているため、更新が必要です。</p> <p>医療機関(病院、調剤薬局、歯科など)にかかると、加入している保険内容に応じて1~3割支払いします。その領収書を持って、役場窓口(2階高齢・障がい福祉課)で申請すると、申請した翌月の20日に保険診療分の自己負担分から一部負担金を差し引いた額を指定の口座に振り込み致します。</p> <p><u>領収書の期限が2年ですので、2年以内に申請しなければ無効になりますのでご注意ください。</u></p> <p>【平成17年度 助成実績】</p> <p>受給資格者数 : 父母(403人)                   : 児童(647人)</p> <p>年間申請件数 : 父母(2,346件)                   : 児童(3,121件)</p> <p>支 給 額 : 父母(6,997千円)                   : 児童(4,751千円)</p>					
	事業の成果	<p>母子家庭では、非正規雇用労働者(パート・アルバイト)が大半で非課税世帯が多いのが現状です。親は精神的、身体的に疲労もあり、内科、婦人科、及び精神科への受診が多く見受けられます。子が18歳に達するまで助成できるこの制度は、母子及び父子家庭等の生活支援に役立っています。ただし、1診療機関につき月千円以上の医療費についての助成になっているため、世帯によっては支出した医療費の10~50%しか払い戻しがないケースもあります。</p>				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	12,000	11,748		5,874		5,874



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	乳幼児医療費助成事業	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381 889-4416	科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	満5歳未満の乳幼児をもつ保護者	満5歳未満の乳幼児をもつ保護者に対し、医療費を助成することで、乳幼児の健やかな成長に寄与し、福祉の増進を図ります。

事業の実施内容	<p>【制度のしくみ】</p> <p>乳幼児医療費助成では、保険医療にかかる医療費の自己負担分(高額療養費や付加給付など、他から助成を受ける分は除外する)を払い戻しする制度です。</p> <p>【助成を受ける期間】</p> <p>資格の取得の日から満5歳の誕生月の末日まで ただし、満3歳の翌月から満5歳の到達月までは入院のみの助成となります。</p> <p>【手続きの手順】</p> <p>☺ 領収書の期限が1年ですので、1年以内に申請しなければ無効になりますのでご注意ください。 ☺</p> <p>【平成17年度 助成実績】</p> <p>支給総額 : 53,791千円</p> <p>申請件数 : 52,151件</p>
	<p>【制度のしくみ】</p> <p>乳幼児医療費助成では、保険医療にかかる医療費の自己負担分(高額療養費や付加給付など、他から助成を受ける分は除外する)を払い戻しする制度です。</p> <p>【助成を受ける期間】</p> <p>資格の取得の日から満5歳の誕生月の末日まで ただし、満3歳の翌月から満5歳の到達月までは入院のみの助成となります。</p> <p>【手続きの手順】</p> <p>☺ 領収書の期限が1年ですので、1年以内に申請しなければ無効になりますのでご注意ください。 ☺</p> <p>【平成17年度 助成実績】</p> <p>支給総額 : 53,791千円</p> <p>申請件数 : 52,151件</p>

事業の成果

乳幼児を持つ家庭に医療費を助成することで保護者の経済的負担を軽減し、乳幼児の健康増進に役立っています。1~2歳児は、中耳炎や風邪等で週に2~4日通院することが多く、月平均1~2万円の医療費がかかるため、その医療費を助成するこの事業は保護者への医療費に対する心理的不安を解消するうえでも役立っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	56,352	53,791		26,795		26,996

平成17年度主要施策の成果に関する報告書


単位:千円

事業名	老人福祉医療助成金支給事業	予	会計	一般会計	01																																																																																																																												
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班	算	款	民生費	03																																																																																																																												
連絡先	889-4416・889-7381	科	項	社会福祉費	01																																																																																																																												
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	老人福祉費	02																																																																																																																												
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																																																																																																																															
	本町に住基台帳に登録されている在宅老人。ただし、保険外負担がない介護保険法第7条第21項、第22項、第23項に規定する介護保険施設に入所中の在宅老人及び、生活保護法等による他の制度でおむつ代等を補填している在宅老人または、本町に住民登録して、6月に満たない在宅老人は該当しない。	在宅老人に対し、健康保険法等の保険外負担となつているおむつ代の助成として、老人福祉医療助成金(以下「助成金」という。)を支給するため。																																																																																																																															
事業の実施内容	1)助成金の支給額は、月額2,500円 2)助成金の支払いは、毎年3月及び9月の2期に、それぞれ前月までの分を支払期月の末日までに口座振込みにより支払う。  平成17年度 老人福祉医療助成金支給事業 (単位:円)																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自治会名</th> <th colspan="3">9月支給分</th> <th colspan="3">3月支給分</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>支給額</th> <th>月数</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> <th>月数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 与那覇</td><td>3</td><td>45,000</td><td>18</td><td>5</td><td>60,000</td><td>24</td></tr> <tr><td>2 宮城</td><td>6</td><td>40,000</td><td>16</td><td>2</td><td>25,000</td><td>10</td></tr> <tr><td>3 大名</td><td>2</td><td>30,000</td><td>12</td><td>4</td><td>47,500</td><td>19</td></tr> <tr><td>4 新川</td><td>11</td><td>150,000</td><td>60</td><td>10</td><td>120,000</td><td>48</td></tr> <tr><td>5 宮平</td><td>20</td><td>272,500</td><td>109</td><td>14</td><td>210,000</td><td>84</td></tr> <tr><td>6 兼城</td><td>11</td><td>130,000</td><td>52</td><td>11</td><td>132,500</td><td>53</td></tr> <tr><td>7 本部</td><td>2</td><td>30,000</td><td>12</td><td>2</td><td>30,000</td><td>12</td></tr> <tr><td>8 喜屋武</td><td>4</td><td>60,000</td><td>24</td><td>4</td><td>60,000</td><td>24</td></tr> <tr><td>9 照屋</td><td>4</td><td>60,000</td><td>24</td><td>4</td><td>60,000</td><td>24</td></tr> <tr><td>10 津嘉山</td><td>18</td><td>250,000</td><td>100</td><td>15</td><td>200,000</td><td>80</td></tr> <tr><td>11 山川</td><td>6</td><td>45,000</td><td>18</td><td>3</td><td>35,000</td><td>14</td></tr> <tr><td>12 神里</td><td>3</td><td>37,500</td><td>15</td><td>3</td><td>45,000</td><td>18</td></tr> <tr><td>13 兼本ハイツ</td><td>5</td><td>75,000</td><td>30</td><td>5</td><td>75,000</td><td>30</td></tr> <tr><td>14 第一団地</td><td>1</td><td>15,000</td><td>6</td><td>1</td><td>15,000</td><td>6</td></tr> <tr><td>15 第二団地</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>96</td><td>1,240,000</td><td>496</td><td>83</td><td>1,115,000</td><td>446</td></tr> </tbody> </table> <p>支給実績総額:2,355千円 利用者延べ人数:179人 利用月数:942月</p>					自治会名	9月支給分			3月支給分			人数	支給額	月数	人数	支給額	月数	1 与那覇	3	45,000	18	5	60,000	24	2 宮城	6	40,000	16	2	25,000	10	3 大名	2	30,000	12	4	47,500	19	4 新川	11	150,000	60	10	120,000	48	5 宮平	20	272,500	109	14	210,000	84	6 兼城	11	130,000	52	11	132,500	53	7 本部	2	30,000	12	2	30,000	12	8 喜屋武	4	60,000	24	4	60,000	24	9 照屋	4	60,000	24	4	60,000	24	10 津嘉山	18	250,000	100	15	200,000	80	11 山川	6	45,000	18	3	35,000	14	12 神里	3	37,500	15	3	45,000	18	13 兼本ハイツ	5	75,000	30	5	75,000	30	14 第一団地	1	15,000	6	1	15,000	6	15 第二団地	0	0	0	0	0	0	合計	96	1,240,000	496	83	1,115,000
自治会名	9月支給分			3月支給分																																																																																																																													
	人数	支給額	月数	人数	支給額	月数																																																																																																																											
1 与那覇	3	45,000	18	5	60,000	24																																																																																																																											
2 宮城	6	40,000	16	2	25,000	10																																																																																																																											
3 大名	2	30,000	12	4	47,500	19																																																																																																																											
4 新川	11	150,000	60	10	120,000	48																																																																																																																											
5 宮平	20	272,500	109	14	210,000	84																																																																																																																											
6 兼城	11	130,000	52	11	132,500	53																																																																																																																											
7 本部	2	30,000	12	2	30,000	12																																																																																																																											
8 喜屋武	4	60,000	24	4	60,000	24																																																																																																																											
9 照屋	4	60,000	24	4	60,000	24																																																																																																																											
10 津嘉山	18	250,000	100	15	200,000	80																																																																																																																											
11 山川	6	45,000	18	3	35,000	14																																																																																																																											
12 神里	3	37,500	15	3	45,000	18																																																																																																																											
13 兼本ハイツ	5	75,000	30	5	75,000	30																																																																																																																											
14 第一団地	1	15,000	6	1	15,000	6																																																																																																																											
15 第二団地	0	0	0	0	0	0																																																																																																																											
合計	96	1,240,000	496	83	1,115,000	446																																																																																																																											
事業の成果	在宅介護者の負担軽減に寄与できました。																																																																																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																														
	2,400	2,355	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																										
						2,355																																																																																																																											



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	長期療養者に対する生活援助費の支給事業	予	会計	一般会計	01		
部 課	民生部 民生総務課 福祉企画班	算	款	民生費	03		
連絡先	889-2508	科	項	社会福祉費	01		
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	社会福祉総務費	01		
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)					
	世帯主として、家族の生計を主に維持していた者が疾病により3ヶ月以上入院又は治療のため通院し療養しているため生活費が減り、困窮している世帯。	生活費を支給することにより、家族の生活の安定を図ります。					
事業の実施内容	<p>世帯主が病気のために3ヶ月以上療養する場合、生活援助費を支給し生活の安定とその世帯の福祉増進を図ります。                  ただし、生活保護世帯、町民税が一定額を超える方、公的年金受給者(寡婦年金及び福祉年金は除く)、他から休業補償を受けることができる方、本町居住1年未満の方は支給できません。</p> <p>支給額 月額20千円 または 15千円</p> <p>支給期間 12ヶ月以内</p> <p>平成17年度の状況</p> <p>支給総額 525千円</p> <p>内 訳 前年度より継続して支給した者 3名(支給額365千円)</p> <p>平成17年度に新規支給した者 2名(支給額160千円)</p> <p>平成17年度は3名の方から相談があり、2名は支給決定し、1名は要件を満たせず取り下げとなりました。</p>						
							
事業の成果	<p>生計の中心者が予期せぬ疾病により長期療養を余儀なくされ、収入が激減した世帯は、急な生活費の収入減により生活面、精神面で不安を抱いています。本事業を実施することにより、少なからず、生活面、精神面での支えをすることができました。</p>						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	600	525	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							525



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	介護用品支給事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)					
	本町に住所を有する要介護4又は5に相当する在宅の高齢者で町民税非課税世帯に属する者を現に介護している家族とする。また、隣地に居住し事実上同居に近い形で介護にあっている場合も実状に応じて給付の対象とする。	高齢者を介護している家族等のニーズに対応し、介護用品を給付することにより、高齢者を介護している家族等の身体的、精神的及び経済的負担を軽くするとともに、高齢者の在宅生活の継続と向上を図ることを目的とする					
事業の実施内容	<p>(介護用品の種類) 給付する家族介護用品は、紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋清拭剤、消臭剤、ラバーシート、ドライシャンプー及びうがい薬とする</p> <p>(給付額の上限) 給付額は、年額1人当たり上限75千円 家族介護者交流事業(元気回復事業)のサービスを併せて受けることを希望しない場合に限り年額1人当たり上限100千円</p> <p>(実施の方法) 家族介護用品を希望するものは申請書を提出し、町は申請に基づき審査したうえ家族介護用品給付券を発行。町内で営業し町に登録した業者にその給付券を提示し用品を購入する。その代金は業者が町に請求する。</p> <p>利用者延べ人数： 6人      実績額： 314千円</p>						
事業の成果	高齢者の在宅介護に係る経費の削減が図られました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				0
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	900	314		314			

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人保健特別会計(医療給付費)	予	会計	老人保健特別会計	04
部 課	民生部 国民健康保険課 老人医療係	算	款	医療諸費	01
連絡先	889-1798	科	項	医療諸費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	医療給付費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	医療保険加入者で75歳以上の人及び65歳以上の一定以上の障害をお持ちの人。また、平成14年9月30日以前で70歳以上だった人。	高齢者の方々が安心して医療を受けられるようにすることを目的としています。

事業の概要	1. 平成17年度の医療給付費の内訳																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額(単位:円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,579</td> <td>1,093,173,676</td> </tr> <tr> <td>入院外</td> <td>29,441</td> <td>428,841,666</td> </tr> <tr> <td>老人施設療養費</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>食事療養費</td> <td>2,478</td> <td>80,541,260</td> </tr> <tr> <td>調剤</td> <td>16,591</td> <td>152,997,343</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>1,885</td> <td>32,608,489</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>104</td> <td>4,631,260</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,600</td> <td>1,792,793,694</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額(単位:円)	入院	2,579	1,093,173,676	入院外	29,441	428,841,666	老人施設療養費	0	0	食事療養費	2,478	80,541,260	調剤	16,591	152,997,343	歯科	1,885	32,608,489	入院	104	4,631,260	合計	50,600
	件数	金額(単位:円)																											
入院	2,579	1,093,173,676																											
入院外	29,441	428,841,666																											
老人施設療養費	0	0																											
食事療養費	2,478	80,541,260																											
調剤	16,591	152,997,343																											
歯科	1,885	32,608,489																											
入院	104	4,631,260																											
合計	50,600	1,792,793,694																											
実施内容	<p>老人医療費の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>医療費(千円)</th> <th>受給者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14年度</td> <td>1,590,220</td> <td>2,247</td> </tr> <tr> <td>H15年度</td> <td>1,600,268</td> <td>2,198</td> </tr> <tr> <td>H16年度</td> <td>1,680,597</td> <td>2,118</td> </tr> <tr> <td>H17年度</td> <td>1,792,793</td> <td>2,047</td> </tr> </tbody> </table>			年度	医療費(千円)	受給者数(人)	H14年度	1,590,220	2,247	H15年度	1,600,268	2,198	H16年度	1,680,597	2,118	H17年度	1,792,793	2,047											
	年度	医療費(千円)	受給者数(人)																										
H14年度	1,590,220	2,247																											
H15年度	1,600,268	2,198																											
H16年度	1,680,597	2,118																											
H17年度	1,792,793	2,047																											
内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>給付費(円)</th> <th>受給者数(人)</th> <th>1人あたりの給付費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14年度</td> <td>1,590,220,228</td> <td>2,247</td> <td>707,708</td> </tr> <tr> <td>H15年度</td> <td>1,600,268,823</td> <td>2,198</td> <td>728,056</td> </tr> <tr> <td>H16年度</td> <td>1,680,597,875</td> <td>2,118</td> <td>793,483</td> </tr> <tr> <td>H17年度</td> <td>1,792,793,694</td> <td>2,047</td> <td>875,815</td> </tr> </tbody> </table>			年度	給付費(円)	受給者数(人)	1人あたりの給付費(円)	H14年度	1,590,220,228	2,247	707,708	H15年度	1,600,268,823	2,198	728,056	H16年度	1,680,597,875	2,118	793,483	H17年度	1,792,793,694	2,047	875,815						
	年度	給付費(円)	受給者数(人)	1人あたりの給付費(円)																									
H14年度	1,590,220,228	2,247	707,708																										
H15年度	1,600,268,823	2,198	728,056																										
H16年度	1,680,597,875	2,118	793,483																										
H17年度	1,792,793,694	2,047	875,815																										
事業の成果	老人医療受給者への医療給付を実施し、老人保健事業の健全な運営が確保され、保健向上に寄与できました。																												

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,792,900	1,792,794	499,556	124,889		1,043,369	124,980

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

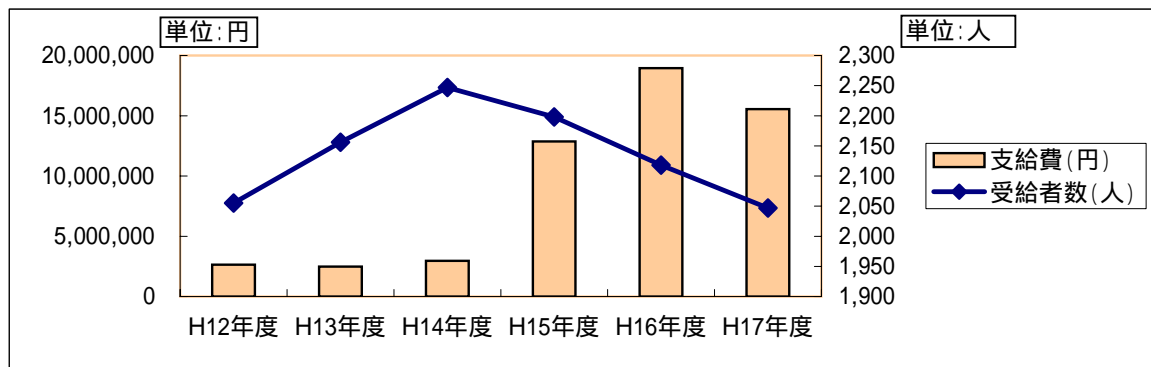
単位:千円

事業名	老人保健特別会計(医療支給費)	予	会計	老人保健特別会計	04
部 課	民生部 国民健康保険課 老人医療係	算	款	医療諸費	01
連絡先	889-1798	科	項	医療諸費	01
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	医療支給費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	医療保険加入者で75歳以上の人及び65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。また、平成14年9月30日以前で70歳以上だった人。	保健向上と老人福祉の増進を図ることを目的とする。

1. 平成17年度の医療支給費の内訳

	件数	金額(単位:円)
柔道整復師施術費	127	752,334
補装具	51	1,197,994
医介輔	-	-
食事療養費	-	-
看護料	-	-
ハリ・キウ施術費	4	39,348
アロマ・マッサージ施術費	2	20,924
一般診療費	-	-
高額医療費	1,852	13,543,802
合 計	2,036	15,554,402



	支給費(円)	受給者数(人)
H12年度	2,641,618	2,055
H13年度	2,488,678	2,156
H14年度	2,965,865	2,247
H15年度	12,864,406	2,198
H16年度	18,948,571	2,118
H17年度	15,554,402	2,047

平成14年10月からは月額上限制が廃止され、高齢者にも現役世代と同様の「定率負担」の趣旨を徹底するとともに、一部負担金が高額となったときは高額医療費制度で対応するようになったため、支給額が増加しています。また、公費負担割合も平成14年10月から老人医療対象年齢に応じて段階的に引き上げられています。

老人医療受給者への医療費の支給を実施し、老人保健事業の健全な運営が確保され、保健向上に寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,650	15,554	4,334	1,083		9,053	1,084

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人医療訪問指導事業	予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国民健康保険課 老人医療係	算	款	衛生費	04	
連絡先	889 - 1798	科	項	保健衛生費	01	
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	老人医療費適正化推進事業	05	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)				
	医療保険加入者で75歳以上の人及び65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。また、平成14年9月30日以前で70歳以上だった人。	老人医療費の抑制を図り、老人医療制度の安定的運営を確保するための事業で、保健師による訪問で正しい栄養知識、体力づくりなどを指導し、病気の予防対策に力を入れています。				
事業の実施内容	重複・頻回受診者等訪問指導活動					
	保健師を重複・頻回受診者のもとへ戸別訪問させ、正しい栄養知識、体力づくりなどの保健指導を行い、病気の早期回復と共に、医療費の適性化を推進しています。					
	重複受診 …… 同じ病気で複数の病院で診察を受けること					
	頻回受診 …… 必要以上に病院にかかること					
	訪問指導員賃金	2,521千円				
	訪問に必要な消耗品など	10千円				
		合計 2,531千円				
事業の成果	重複・頻回受診者を戸別訪問することにより、療養方法等の必要な保健指導が行うことができ、町の健康事業につなげることができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	2,653	2,531	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						2,531

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人医療費適正化推進事業	予	会計	一般会計	01			
部 課	民生部 国民健康保険課 老人医療係	算	款	衛生費	04			
連絡先	889 - 1798	科	項	保健衛生費	01			
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定	目	目	老人医療費適正化推進事業	05			
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)						
	医療保険加入者で75歳以上の人及び65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。また、平成14年9月30日以前で70歳以上だった人。	老人医療費の適正な使い方を推進するためにレセプト点検を行います。						
事業の内容	<p>レセプト点検(請求点数等)</p> <p>有資格者によるレセプト点検で、レセプトの請求点数等の総合点検を行うことによって、不正請求や過剰診療等を防いでいます。年間のレセプト点検処理数は50,600枚です。</p> <p>保健事業嘱託員(レセプト点検)報酬 1,062千円 レセプト共同電算処理委託料 1,681千円</p> <p style="text-align: right;">合計 2,743千円</p>							
	<p>レセプト点検(縦覧)</p> <p>有資格者によるレセプト点検をし、個人ファイルにより縦覧点検を行います(レセプト個人ファイルへの並べ替え)。</p> <p>保健事業報酬員(レセプト点検)報酬 1,062千円 審査関係図書等の消耗品 29千円</p> <p style="text-align: right;">合計 1,091千円</p>							
内容	<p>レセプトとは？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>診療の妥当性審査 「レセプト」とは、医療費の明細書のことです。医療費は病院や診療所、調剤薬局などが、診療、検査、投薬、手術など医療行為の内容を記入し、月ごとに審査機関に提出、医療費を請求します。請求された医療費は、沖縄県社会保険診療報酬支払基金と沖縄県国民健康保険団体連合会で医療費の計算書を審査、点検して審査を終え、町に送られてきた明細書がレセプトです。町では、さらにレセプト職員で審査し、適正な医療であるかチェックを行います。</p> </div>							
事業の成果	有資格者によるレセプトの請求点数等を点検することによって、不正請求や過剰診療等を防ぐことができました。							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,963	3,834	817					3,017

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童手当交付事業		予	会計	一般会計	01																																																		
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03																																																		
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02																																																		
施策の大綱	地域保健福祉の充実と生活の安定		目	目	児童福祉総務費	01																																																		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																																																					
	小学3年生修了前までの児童		児童手当給付事業の円滑な推進に努め、家庭における生活の安定に寄与することを目的とします。																																																					
事業の実施内容	<p>1. 児童手当の種類などについて</p> <p>児童手当の支給対象は、小学校3年までの児童を扶養している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で第1子、第2子には5,000円、第3子以降は10,000円となっています。また、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方です。</p> <p>「児童手当」は3歳未満の児童を扶養している方に支給され、3歳以上小学校3年終了前の児童を扶養している方には「小学校第3学年終了前特例給付」が支給されます。「特例給付」は所得制限により、児童手当を受給できないサラリーマンなどの特例として、所得が一定未満の場合に限って支給されます。</p> <p>なお、平成18年度より支給対象が小学校6年生まで拡大されています。</p>																																																							
	<p>2. 児童手当の支給状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>手当月額(円)</th> <th>基礎となる延児童数(人)</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">児 童 手 当</td> <td rowspan="3">被用者</td> <td>5,000</td> <td>6,381</td> <td rowspan="3">円 49,855,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>1,795</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,176</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非被用者</td> <td>5,000</td> <td>3,436</td> <td rowspan="3">27,760,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>1,058</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,494</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特 例 給 付</td> <td>5,000</td> <td>391</td> <td rowspan="3">3,095,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">小 学 校 第 3 学 年 終 了 前 特 例 給 付</td> <td rowspan="3">被用者</td> <td>5,000</td> <td>14,022</td> <td rowspan="3">111,520,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>4,141</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18,163</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非被用者</td> <td>5,000</td> <td>8,297</td> <td rowspan="3">64,505,000</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>2,302</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,599</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td>256,735,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区 分	手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額	児 童 手 当	被用者	5,000	6,381	円 49,855,000	10,000	1,795	計	8,176	非被用者	5,000	3,436	27,760,000	10,000	1,058	計	4,494	特 例 給 付	5,000	391	3,095,000	10,000	114	計	505	小 学 校 第 3 学 年 終 了 前 特 例 給 付	被用者	5,000	14,022	111,520,000	10,000	4,141	計	18,163	非被用者	5,000	8,297	64,505,000	10,000	2,302	計	10,599	合 計			256,735,000
区 分	手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額																																																					
児 童 手 当	被用者	5,000	6,381	円 49,855,000																																																				
		10,000	1,795																																																					
		計	8,176																																																					
	非被用者	5,000	3,436	27,760,000																																																				
		10,000	1,058																																																					
		計	4,494																																																					
特 例 給 付	5,000	391	3,095,000																																																					
	10,000	114																																																						
	計	505																																																						
小 学 校 第 3 学 年 終 了 前 特 例 給 付	被用者	5,000	14,022	111,520,000																																																				
		10,000	4,141																																																					
		計	18,163																																																					
	非被用者	5,000	8,297	64,505,000																																																				
		10,000	2,302																																																					
		計	10,599																																																					
合 計			256,735,000																																																					
事業の成果	子育てや生活支援のために手当を給付することにより、家庭の経済的な安定につながりました。																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
	256,765	256,735	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
			183,472	36,379			36,884																																																	



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保健センター建設事業	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班	算	款	衛生費	04
連絡先	889 - 1797	科	項	保健衛生費	01
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保	目	目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	乳幼児からお年寄りまでのすべての町民の健康づくりの拠点。	年齢、性別、障害の有無に関わらず誰でも安心して生活することができる町づくりを目指した、住民主体の地域福祉活動を推進する拠点とした、地域保健福祉活動が一体的・効果的に展開できる施設の建設。

事業の実施内容	建設検討委員会委員報酬・費用弁償	112千円
	<p>総合保健福祉センター予定地</p> 	

事業の成果	南風原町総合保健福祉センター建設検討委員会から、予定場所、規模等が答申されました。					
-------	-------------------------------------------	--	--	--	--	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	166	112					112

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	法人保育園補助金(単独事業)	予	会計	一般会計	01																																							
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班	算	款	民生費	03																																							
連絡先	889-7028	科	項	児童福祉費	02																																							
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保	目	目	児童福祉総務費	01																																							
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																																										
	町内の法人保育園	法人保育園補助金は乳幼児を持つ保護者が仕事や病気、出産等で十分な保育ができない場合に保育所で措置し、保護者の保育料を軽減する為に、町が保護者に代わり保育所に支払い乳幼児の安全で健康な保育を図ることを目的とする。																																										
事業の内容	<p>主な経費</p> <p>1,法人保育園補助金 6,262千円 入園児1人当たり月500円の補助金を各保育園に支払っています。</p> <p>2,法人保育園職員給与補助金 10,864千円 職員1人当たり月4,000円の補助金を各法人保育園に支払っています。</p> <p>3,法人保育園傷害保険料補助金 813千円</p> <p>4,その他 201千円</p> <p>法人保育園の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育所名</th> <th>児童定員</th> <th>入所児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津嘉山保育園</td> <td>120人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>兼城保育園</td> <td>90人</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>はなぞの保育園</td> <td>90人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>若夏保育園</td> <td>90人</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>みつわ保育園</td> <td>75人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>さんご保育園</td> <td>90人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>さんご保育園</td> <td>90人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>はえばる保育園</td> <td>120人</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>マイフレンズ保育園</td> <td>90人</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>ていだ保育園</td> <td>90人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>なのはな保育園</td> <td>60人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>合計 10保育園</td> <td>915人</td> <td>1,022人</td> </tr> </tbody> </table>					保育所名	児童定員	入所児童数	津嘉山保育園	120人	129人	兼城保育園	90人	99人	はなぞの保育園	90人	98人	若夏保育園	90人	99人	みつわ保育園	75人	82人	さんご保育園	90人	132人	さんご保育園	90人	132人	はえばる保育園	120人	132人	マイフレンズ保育園	90人	99人	ていだ保育園	90人	95人	なのはな保育園	60人	57人	合計 10保育園	915人	1,022人
	保育所名	児童定員	入所児童数																																									
津嘉山保育園	120人	129人																																										
兼城保育園	90人	99人																																										
はなぞの保育園	90人	98人																																										
若夏保育園	90人	99人																																										
みつわ保育園	75人	82人																																										
さんご保育園	90人	132人																																										
さんご保育園	90人	132人																																										
はえばる保育園	120人	132人																																										
マイフレンズ保育園	90人	99人																																										
ていだ保育園	90人	95人																																										
なのはな保育園	60人	57人																																										
合計 10保育園	915人	1,022人																																										
事業の成果	法人保育園に保育実施を委託し、入所児童の心身の健全な発達を確保するとともに、法人保育園を助成することにより、円滑な運営が図られました。																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	18,582	18,140	0	0	0	0	18,140																																					

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可外保育園補助	予	会計	一般会計	01																		
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班	算	款	民生費	03																		
連絡先	889 - 7028	科	項	児童福祉費	02																		
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保	目	目	児童福祉総務費	01																		
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)																					
	町内の認可外保育園を対象とする。	認可外保育施設に運営費等の補助をすることにより、入所する児童の福祉向上を図り、心身ともに健やかに育成されることを目的とする。																					
事業の実施内容	<p>1. 認可外保育園運営補助金(一般援護費) 認可外保育施設に入所する児童の福祉の向上を図るため、児童の処遇に要する経費等を補助する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 700円×児童数×12月 = 2,954,700円 (当町に住所を有する児童を支給対象とする。)</li> <li>・ 賠償責任保険料(特別援護費) 106,300円</li> </ul> <p>2. 認可外保育施設に入所する児童及び勤務する職員の、健康管理に要する経費やミルク代等を補助する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>基準額</th> <th>対象</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">児童の健康診断費</td> <td>内科検診 1,000円×2回以内</td> <td rowspan="2"></td> <td>848,000円</td> </tr> <tr> <td>歯科検診 750円×1回</td> <td>352,000円</td> </tr> <tr> <td>牛乳代</td> <td>37円×実施日数×実施月数</td> <td>1歳以上 6歳未満</td> <td>1,650,000円</td> </tr> <tr> <td>調理員 検便費</td> <td>1,500円×実施月数(調理員1人あたり)</td> <td></td> <td>27,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(この事業には県からの補助金が含まれている。)</p>					種目	基準額	対象	補助金額	児童の健康診断費	内科検診 1,000円×2回以内		848,000円	歯科検診 750円×1回	352,000円	牛乳代	37円×実施日数×実施月数	1歳以上 6歳未満	1,650,000円	調理員 検便費	1,500円×実施月数(調理員1人あたり)		27,000円
	種目	基準額	対象	補助金額																			
児童の健康診断費	内科検診 1,000円×2回以内		848,000円																				
	歯科検診 750円×1回		352,000円																				
牛乳代	37円×実施日数×実施月数	1歳以上 6歳未満	1,650,000円																				
調理員 検便費	1,500円×実施月数(調理員1人あたり)		27,000円																				
事業の成果	入所する児童の処遇に要する経費、及び賠償保険料を補助することで、認可外保育園の運営を助長し福祉の向上を図ることができました。また、健康診断や歯科検診を行うことで、児童の健康管理につなげることができました。																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	6,789	5,938		1,440		4,498																	

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	障がい児通園(デイサービス)事業		予	会計	一般会計	01																																									
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03																																									
連絡先	889 - 7028		科	項	児童福祉費	02																																									
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保		目	目	児童福祉総務費	02																																									
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																																												
	町内在住の心身の発達に遅れを有する児童を対象とする。(原則として母子通園です。)		児童福祉法に「すべての児童はひとしく生活を保障され、愛護されなければならない」とありますが、何よりも障がい児の療育において、生かされなければならいと考える。ゆうな園は、発達におくれのある児童を早期から集団保育に参加させる事により、その発達を促進すると共に、障がい児を持つ親が集い励まし合い、気軽に参加出来る場となる事を目的とします。																																												
事業の実施内容	年間利用状況																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>45</td> <td>31</td> <td>65</td> <td>43</td> <td>30</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>73</td> <td>56</td> <td>111</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34</td> <td>68</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>45</td> <td>80</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>96</td> <td>38</td> <td>35</td> <td>65</td> <td>104</td> <td>827</td> </tr> </tbody> </table> 育児講座 音楽療法・トールペイント・ヨガ・救急法・エコバック作り  育児講座 島と自然について・くすぬち平和記念館見学  自主サークル(ていーあんだーの会) ゆうな園だけではなく、保育所やふくぎの家他施設との交流も実施  障害児通園(デイサービス)事業の経費 ・臨時職員賃金 (予算額:1,699千円 決算額:1,677千円) ・講座講師謝礼金等 (予算額:86千円 決算額:82千円) ・消耗品等購入費 (予算額:135千円 決算額:107千円)						月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	件数	45	31	65	43	30	20	人数	73	56	111	73	72	50	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	34	68	26	27	45	80	514	54	96	38	35	65	104
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																									
件数	45	31	65	43	30	20																																									
人数	73	56	111	73	72	50																																									
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																									
34	68	26	27	45	80	514																																									
54	96	38	35	65	104	827																																									
事業の成果	ゆうな園は、発達のおくれのある児童及び障がいをもつ子をかかえる保護者に集いの場を提供し、情報交換や講話を通してより多くのことを学び理解しあえるような共感できる仲間づくりの場としても多に利用されました。このような交流を通して保護者も自主的にサークル活動(ていーあんだの会)を行い、自分たちの癒しの空間として生きる勇気と明日への希望をもって施設を活用しています。																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
	1,920	1,866	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																								
						1,866																																									

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	各種援護措置の実施事業		予	会計	一般会計	01																																													
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03																																													
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01																																													
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保		目	目	老人福祉費	02																																													
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																																																
	老人福祉法第11条規定による養護老人ホーム等への入所等の措置は、65歳以上の者であつて、身体上又は精神上的の障がいがあるために日常生活を営むのに支障があるもの		老人の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図る。																																																
事業の実施内容	<p>首里厚生園に4月・5月は5人、6月から11月までは4人、12月から3月までは3人の措置をして、老人ホーム入所保護措置費を負担。</p> <p>入所負担金が1,901千円</p> <p>(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>被措置者</th> <th>措置費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>5人</td><td>766,850</td></tr> <tr><td>5月</td><td>5人</td><td>755,039</td></tr> <tr><td>6月</td><td>4人</td><td>609,480</td></tr> <tr><td>7月</td><td>4人</td><td>609,480</td></tr> <tr><td>8月</td><td>4人</td><td>609,480</td></tr> <tr><td>9月</td><td>4人</td><td>609,480</td></tr> <tr><td>10月</td><td>4人</td><td>609,480</td></tr> <tr><td>11月</td><td>4人</td><td>579,365</td></tr> <tr><td>12月</td><td>3人</td><td>478,740</td></tr> <tr><td>1月</td><td>3人</td><td>463,320</td></tr> <tr><td>2月</td><td>3人</td><td>464,160</td></tr> <tr><td>3月</td><td>3人</td><td>464,160</td></tr> <tr><td colspan="2">事務費追給分</td><td>11,200</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>7,030,234</td></tr> </tbody> </table>						月	被措置者	措置費	4月	5人	766,850	5月	5人	755,039	6月	4人	609,480	7月	4人	609,480	8月	4人	609,480	9月	4人	609,480	10月	4人	609,480	11月	4人	579,365	12月	3人	478,740	1月	3人	463,320	2月	3人	464,160	3月	3人	464,160	事務費追給分		11,200			7,030,234
	月	被措置者	措置費																																																
4月	5人	766,850																																																	
5月	5人	755,039																																																	
6月	4人	609,480																																																	
7月	4人	609,480																																																	
8月	4人	609,480																																																	
9月	4人	609,480																																																	
10月	4人	609,480																																																	
11月	4人	579,365																																																	
12月	3人	478,740																																																	
1月	3人	463,320																																																	
2月	3人	464,160																																																	
3月	3人	464,160																																																	
事務費追給分		11,200																																																	
		7,030,234																																																	
事業の成果	老人の心身の健康の保持及び生活の安定が図られた。																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
	7,054	7,030	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																												
					1,901	5,129																																													



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	身体障害者施設訓練等支援事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体障がい者		身体障がい者の障がいや程度に合わせた施設に入所又は通所させてその更生に必要な治療及び訓練を行います。また、仕事をするにより働く喜びを実感してもらい、自活を促します。				
事業の内容	身体障がい者施設訓練等支援費		69,482千円				
	<p>&lt;身体障がい者授産施設 20名&gt; 18年3月末現在</p> <p>沖縄ココニセンター 3名 沖縄ココニステーション 2名 おきなわ太陽の町 7名 おきなわ希望の家 8名</p> <p>&lt;身体障がい者療護施設 7名&gt;</p> <p>松原園 1名 青葉園 2名 仁愛療護園 1名 都屋の里 1名 ソフィア 1名 ハーモニー 1名</p> <p>&lt;身体障がい者更生施設 2名&gt;</p> <p>沖縄県立更生指導所 2名</p> <p>実際には、国庫支出金41,405千円、県支出金20,702千円が入ってきていますが、翌年度(平成18年度)に精算し、事業実績との差額分を返還します。</p>						
事業の成果	身体障がい者に対してその更生に必要な治療及び訓練を行い、また、仕事をするにより勤労の喜びを感じて、自活することに寄与できました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	69,585	69,482	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			34,741	16,028			18,713



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	知的障害者施設訓練等支援事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	施設の整備とマンパワーの確保		目	目	心身障がい者福祉費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	知的障がい者		知的障がい者を入所させて保護するとともに、その更生に必要な指導及び訓練を行う。また、雇用が困難な者を入通所させて自活必要な訓練を行うとともに職業を与えて自活させることを目的とする。			
事業の実施内容	知的障がい者施設訓練等支援費		112,782千円			
	<p>&lt;知的障がい者更生施設 28名&gt; 18年3月末現在</p> <p>北嶺学園 1名    よもぎ学園 3名    あけもどろ学園 3名  名護学院 1名    てだこ学園 2名    愛泉園 2名  みなみの里 2名    鶺鴒の叢 3名    高志保園 1名  石水の里 2名    グリーンホーム 1名    玉川園 3名  あおぞら荘 4名</p> <p>&lt;知的障がい者授産施設 10名&gt;</p> <p>つきしろ学園 3名    れいめいの里 1名    南風学園 6名</p> <p>知的障がい者施設医療支援費</p> <p>1,924千円</p> <p>実際には、国庫支出金60,655千円、県支出金30,354千円が入ってきていますが、翌年度(平成18年度)に精算し、事業実績との差額分を返還します。</p>					
事業の成果	知的障がい者を入所させて保護するとともに、その更生に必要な指導及び訓練を行うことができました。また、雇用が困難な者を入通所させて自活必要な訓練や仕事をするにより、自活することができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	114,774	114,706	57,353	28,676		28,677

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	緊急通報体制整備事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-4416 ・ 889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	安心して暮らせるまちづくり		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	在宅の一人暮らしの高齢者等		高齢者の急病や災害の緊急時に迅速かつ適正な対応し日常生活上の安全の確保と不安の解消。			
事業の内容	主な経費 修繕料 3千円 手数料 67千円 在宅老人緊急通報システム使用料 617千円					
	(事業の内容) 携帯用無線発信機と緊急通報用電話機を高齢者等宅に、通報システム機能を備える民間事業者等には緊急通報受信装置を設置し、高齢者等が家庭内で急病又は事故等の緊急事態に陥つたときは、発信機器を用いて受信センターへ通報することにより、速やかな救護活動等を行う。  (緊急通報体制整備事業のイメージ)					
実施内容	<pre>                     graph TD                         A["ひとり暮らしの高齢者 緊急時に電話機等のボタンを押す。"] -- "受診センターに連絡が入る。" --&gt; B["受診センター 家族など連絡先として登録されている所に連絡をいれる。必要に応じて救急車などを呼ぶ。"]                         B -- "電話で確認" --&gt; A                         B --&gt; C["高齢者の家族など 受診センターからの連絡を受け、高齢者のもとへ駆けつけるなど対処する。"]                 </pre>					
	事業の成果 高齢者の日常生活上の安全の確保と不安の解消を図ることができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	775	687	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						687

平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	遊び場設置補助金		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 民生総務課 子育て支援班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7028		科	項	児童福祉費	02	
施策の大綱	安心して暮らせるまちづくり		目	目	児童福祉総務費	01	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内各自治会		町内各自治会が行う遊び場の確保や遊具の設置、修繕を補助し、子ども達の健全育成を図る。				
事業の内容	1. 子どもの遊び場借地料補助金		366千円				
	2. 遊具設置及び補修費		71千円				
事業の成果	遊び場の確保や遊具の設置、修繕をすることにより、子ども達や親子でのふれあいの場所を確保することができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	667	437	0	0	0	0	437

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	広域事務組合への負担金		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 4416 ・ 889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	安心して暮らせるまちづくり		目	目	介護保険事業費	09	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	沖縄県介護保険広域連合		介護保険事業の安定的な運営				
事業の実施内容	平成17年度沖縄県介護保険広域連合への負担金明細						
	(単位:千円)						
	会計区分	事業項目	負担金額				
	一般会計	共通経費	42,595				
		介護認定に関する経費	11,681				
		国・県補助事業に関する経費	850				
		一般会計に要する経費合計	55,126				
	特別会計	介護給付に要する経費	152,681				
		負担金合計	207,807				
	事業の成果	保険料やサービスの適正化等が図れました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	208,129	207,807	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						207,807	

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ボランティア活動補助金	予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 民生総務課 福祉企画班	算	款	民生費	03	
連絡先	889-2508	科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	ちむぐくで支えあう社会の実現	目	目	福祉基金推進事業費	04	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)				
	南風原町社会福祉協議会内にある「ボランティアセンター」	当センターへ補助金を支出することにより、福祉に対する教育やボランティア活動員の育成を行ない、地域生活支援を推進していきます。				
事業の実施内容	<p>ボランティアセンターでは、福祉教育に対する支援やボランティア活動への支援、普及活動などの取り組みをしています。 平成17年度に取り組んだ主な活動内容は下記のとおりです。 福祉教育連絡会の開催・・・参加者13校(13名)、4福祉施設 町内法人保育園、幼稚園及び小中高校の福祉教育推進校が充実した福祉活動に取り組めるよう情報交換する。 10代のボランティア研修会の開催・・・講話、参加者27名・実践活動参加者29名 地域や学校単位でボランティア活動に取り組んでいる生徒や、これから行おうとしている生徒を対象に、「命の尊さ」や「老い」、「障がい」について理解を深め、「地域で安心して生活できる福祉のまちづくり」が推進されることを期し、講話や実践活動を行った。 初任教諭・10年目教諭福祉研修会の開催・・・2日間、講義～参加者7名 学校や地域での福祉教育の必要性を再確認し、児童・生徒への理解を図る担い手として、学校における福祉教育の推進に寄与することを目的に開催した。 支えあう地域づくりを考える講座の開催・・・2ヶ月間毎週月曜日、延べ参加者206名 地域において支援を必要とする方々が、福祉制度を活用しながら、近隣住民相互の支えあいによって可能な限り自立した生活が営めるよう近隣援助体制づくりを推進することを目的に開催した。 総合的学習の時間への対応・・・対応6回、14名派遣 小中高校が総合的な学習の時間に「思いやりの心」「助け合う心」を育て「自分にできることを探す」といった福祉学習に取り組む中で、地域人材、資源を活かせるよう対応した。 手話ボランティア養成講座・・・週2日、20回の講座・延196名参加 障がい者福祉への理解と認識を深めるとともに、手話を通して聴覚障がい者とのコミュニケーションを図る。 その他、ボランティア(団体)の登録・斡旋や福祉教育推進事業助成金の交付、ボランティアのつどい等の活動を行いました。</p>					
	 					
事業の成果	<p>町内全ての法人保育園から高校を福祉教育推進校に指定し、学校における福祉教育を実施することで、福祉意識の高まりや字・自治会を単位とした高齢者サロン(ミニデイサービス)での交流活動など学校と地域との連携による福祉意識の醸成により影響を与えています。 地域における福祉教育では、支えあう地域づくり講座を開催することで、支援が必要な世帯への見守り活動の活性化が期待されます。また、ボランティアの相談(18件)や登録者等の派遣(125名派遣)など年々増加傾向にあり、補助金を支出することでボランティアセンターの活動を支援することができました。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	350	350	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
						350

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	家族介護慰労事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889 - 4416 ・ 889 - 7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	ちむぐるで支えあう社会の実現		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	在宅の高齢者(第2号被保険者であつて特定疾病に該当する者を含む)を介護している家族		高齢者を介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、高齢者の在宅生活の継続及び向上を図ることを目的とする。			
事業の実施内容	平成17年度実績なし 該当者の申請がなかった。					
	実際には、県支出金75千円が入ってきていますが、翌年度(平成18年度)に精算し、事業実績との差額分を返還します。この事業は平成17年度実績がなかった ので、全額返還します。					
事業の成果						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	200	0				0



平成 17 年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会福祉団体の育成(民生部)	予 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 民生総務課 福祉企画班		款	民生費	03
連絡先	889 - 2508		項	社会福祉費	01
施策の大綱	ちむぐるで支えあう社会の実現		目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	南風原町社会福祉協議会、町内の各種団体へ補助金の交付や、福祉活動の協働等で支援しています。	町民誰もが、住み慣れた地域の中で、安全で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐるでつくる福祉のまち南風原」をめざします。

事業の実施内容	南風原町社会福祉協議会への助成 (内訳)	62,369千円
	運営補助金	47,238千円
	ふれあいのまちづくり事業補助金	6,910千円
	社会福祉センター運営補助金	8,221千円
	民生委員児童委員連合会補助金	6,130千円
	南風原町遺族会への補助金	60千円
	南風原町傷痍軍人会補助金	50千円
	沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	67千円
南部総合福祉センター負担金	1,272千円	
沖縄県原爆被爆者協議会負担金	44千円	



事業の成果  
多様化する福祉課題に取り組み、「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会や民生委員、福祉団体との協働による福祉のまちづくりの推進が図られ、町民の福祉向上に貢献できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	69,993	69,992	0	0	0	0	69,992


平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	高齢者祝金等支給事業		予	会計	一般会計	01
部課名	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	ちむぐくんで支えあう社会の実現		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)		
	ト-カチ、カジマヤ-、新百歳、百歳以上に祝い金等を支給する。			敬老の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝う。		
事業の実施内容	高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、祝い金や記念品を支給する。					
	1,ト-カチ	41名	410千円			
	2,カジマヤ-	15名	450千円			
	3,新百歳	5名	250千円			
	4,百歳以上	6名	120千円			
事業の成果	祝い金等を支給し長寿を祝しました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	1,230	1,230	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						1,230


平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	老人クラブ活動補助金支給事業	予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班	算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 4416 ・ 889 - 7381	科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	ちむくくんで支えあう社会の実現	目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内の各地区老人クラブ及び町老連	南風原町の老人クラブの活性化及び推進を図り、もつて、これらの団体の育成のため補助することを目的とする。				
事業の実施内容	南風原町老人クラブ連合会補助金 : 1,080千円 各字老人クラブ補助金(12地区) : 600千円					
						
事業の成果	各地区の老人クラブが活性化し、自主運営による各事業により、高齢者の方々がいきいきした生活ができました。					
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
	1,680	1,680	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
				578		
						一般財源
						1,102


平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	小規模共同作業所設置事業(障がい者)	予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班	算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381	科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	ちむくくんで支えあう社会の実現	目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体・知的障がい者	雇用されることが困難な心身に障がいのある方が、小規模作業所に通所し、就労や自活に必要な指導訓練を受けることで基本的な生活習慣を習得させ、心身に障がいのある方の社会参加と自立更生を図る				
事業の実施内容	共同作業所はんどinはんど補助金			4,000千円		
	共同作業所かすりくらぶ補助金			4,000千円		
	(社)沖り協のぞみの里小規模作業所補助金			4,000千円		
事業の成果						
	(社)沖り協のぞみの里小規模作業所のようす。					
事業の成果	小規模作業所に通所就労や自活に必要な訓練を受けることで、心身がい害のある方の社会参加と自立更生が図られました。					
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
	12,000	12,000	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
				6,000		
						一般財源
						6,000

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	福祉団体の育成強化事業(町身体障害者福祉会補助)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	ちむくくんで支えあう社会の実現		目	目	心身障がい者福祉費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	障がい者やその家族など		町内の身体障がい者やその家族などで組織し、会員の情報交換や親睦及び地域の福祉増進を図る			
事業の内容	南風原町身体障がい者福祉会補助金		360千円			
						
事業の成果	南風原町身体障がい者福祉会へ補助を行い会員相互の情報交換や親睦及び地域の福祉増進を図ることができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	360	360				360



平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	敬老会事業		予	会計	一般会計	01
部課名	民生部 高齢・障がい福祉課 高齢者福祉班		算	款	民生費	03
連絡先	889-7381		科	項	社会福祉費	01
施策の大綱	ちむぐるで支えあう社会の実現		目	目	老人福祉費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)		
	町内在住の70歳以上の高齢者			敬老会を開催し長寿を祝う		
事業の内容	<p>「敬老週間」の趣旨にふさわしい行事を実施するために、多年にわたり郷土の発展に貢献した町内の70歳以上の歳以上の高齢者を招待して、食事をしながら保育園児等の余興で長寿を祝う。</p> <p>1, 敬老会飲食代 764千円</p> <p>2, 敬老会余興代 100千円</p> <p>約400名参加</p>					
						
事業の成果	町内の高齢者等の交流の場として共に長寿を祝うことができました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	1,000	864	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						864




平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会参加促進事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 高齢・障がい福祉課 障がい者福祉班		算	款	民生費	03	
連絡先	889 - 7381		科	項	社会福祉費	01	
施策の大綱	ちむくくるで支えあう社会の実現		目	目	心身障がい者福祉費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	身体・知的障がい者		障がいのある方の社会的生活能力の向上を図り、その社会活動に必要な支援を行い、社会活動への参加と自立を促進する。				
事業の実施内容	社会参加促進事業						
	事業内容		金 額				
	手話通訳設置事業(報酬・頸肩腕検診料含む)		1,675千円				
	手話・要約筆記奉仕員派遣事業(委託)		459千円				
	点字声の広報等発行(委託)		376千円				
	重度身体障がい者移動支援事業(委託)		532千円				
	福祉機器リサイクル事業(委託)		110千円				
	ボランティア活動支援事業(委託)		59千円				
計		3,210千円					
事業の成果	手話通訳設置事業は10月から手話通訳士(県内で9名しかいない)を採用したので、聴覚障がい者の窓口来書件数が多くなりました。それ以外は町社会福祉協議会や沖縄県聴覚障がい者福祉協会への委託であったため、少し成果が見えにくい状況でした。18年度には地域生活支援事業に移行するので、18年度中には委託内容を精査し見直しを図り、南風原町直営でできるものは直営で行います。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	3,736	3,210	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,096			1,114


平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	精神保健事業		予	会計	一般会計	1	
部 課	民生部 環境保健課 健康づくり班		算	款	衛生費	4	
連絡先	889 - 1797		科	項	保健衛生費	1	
施策の大綱	ちむぐくんで支えあう社会の実現		目	目	精神保健事業費	7	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	回復途上にある精神障がい者		精神障がい者の会「どんぐり会」で、会員の活動意欲の向上を図り、社会復帰を促進する。				
事業内容	運転手謝礼金 18千円 施設使用料など 37千円 その他消耗品費など 129千円						
	平成17年度実施内容 4月 マイクロバスの清掃 5月 地域支援センター「てるしの」とボリビアの料理実 6月 カラオケ 7月 大宜味村の当事者との交流会及び宿泊研修 9月 グラウンドゴルフ 9月 西原町での「心の輪を広げる集い」に参加 11月 北谷町での「こころの芸術・文化フェスティバル」に参 12月 クリスマスパティー 1月 みかん狩り 2月 南部一週ドライブ 3月 一年の反省及び平成18年度事業計画作成						
実施内容							
	9月に行われた「心の輪を広げる集い」の様子						
事業の成果	精神に障がいを持つ者同士が交流し、社会参加、社会復帰を促進する一助となりました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	298	184				184	

平成17年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会福祉団体の育成(総務部)		予	会計	一般会計	01
部 課	総務部 総務課 庶務係		算	款	総務費	02
連絡先	889-4415		科	項	総務管理費	01
施策の大綱	ちむぐくんで支えあう社会の実現		目	目	諸費	11
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	各種福祉団体		犯罪を犯した方の立ち直りを支援する、ボランティア団体を育成する事を目的としています。			
事業の実施内容	<p>1, 町保護司協議会補助金 450千円                      少年院や刑務所に収容されている人が保釈後の帰属先の調査や引受人との話し合い就職先の確保を行いました。</p> <p>7月の「社会を明るくする運動」強化月間中に、子どもの視点から本運動に対する理解を深めてもらおうと、「社会を明るくする運動」をテーマにした作文募集を学校に依頼し、代表者に発表してもらいました。</p> <p>2, 南部保護区保護司会負担金 386千円                      南部地区の各町村保護司協議会を取りまとめ各関係機関(学校、薬物乱用防止協会等)と保護司の情報交換会を開催しました。</p> <p>3, 町更生保護女性会補助金 170千円                      少年院・刑務所運動会に参加し、そこに収容されている人たちを激励し立ち直るの助言を行いました。</p> <p>毎月夜間街頭指導に参加し、非行防止活動を行いました。</p> <p>4, 沖縄県更生保護会補助金 44千円                      沖縄県更生保護会所有の寮に更生保護の対象者を宿泊させ早期自立更正を目指しています。なお、寮での保護者数は41人です。</p>					
			<p>「社会を明るくする運動」に対する法務大臣から町長へのメッセージの伝達式。</p>			
事業の成果	<p>保護司会は保護観察者の相談に応じて助言を行うのはじめ、不登校対策会議の参加等で学校と連帯した活動も行いました。更生保護女性会は刑務所や少年院を訪問しそこに収容されている方たちを激励し、その家族に対して、日常の悩み等の相談に乗ったり励ましを行いました。また、毎月の夜間街頭指導には、保護司会や更生保護女性会からも多数参加して地域の青少年の非行防止活動に努めました。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	1,050	1,050	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
						1,050